

令和 2 年度

九州における地域課題・社会課題の解決に向けた
持続的な S D G s 貢献ビジネスマッチング事業

報告書

2021 年 3 月

経済産業省 九州経済産業局

目次

I. 事業の全体像.....	1
II. 事業の実施結果.....	5
1. 九州SDGsダイアログ.....	5
(1) ニーズ主導ダイアログ（第1回・第2回）.....	5
(2) シーズ主導ダイアログ（第3回）.....	13
(3) ダイアログ総括.....	26
2. ダイアログコーディネート事業.....	27
3. 総会及び記念イベント「九州SDGs経営推進フォーラム 2020」.....	29
(1) 実施概要.....	29
(2) 結果.....	30
(3) 参考資料.....	32
4. 運営委員会.....	42
5. オンラインセミナー.....	45
(1) 実施概要.....	45
(2) 結果.....	47
(3) 参考資料.....	50
6. 分科会勉強会（講師謝金補助事業）.....	72
7. パートナー企業の募集ならびにダイレクトリーの作成.....	74
8. SDGs経営推進ハンドブックの作成.....	76
III. 課題と今後の取組の方向性.....	77
1. 地域企業におけるSDGs経営推進の課題.....	77
2. 地域課題・社会課題を解決するビジネス創出に向けた課題.....	78
3. 地域課題・社会課題を解決するビジネス創出に向けた今後の取組の方向性.....	82

I. 事業の全体像

本事業は、地域企業がSDGsを本業に埋め込み、経営戦略に実装することで、ブレない経営の創造とビジネスの潮流に乗る後押しをすることを目的に、九州経済産業局が2020年2月3日に設立した産学官金のプラットフォーム「九州SDGs経営推進フォーラム」において、SDGsに関する情報提供や相談対応、地域・社会課題解決のためのビジネスマッチング等に取り組むことでSDGs経営の普及啓発やビジネスの創出を図ることを目的とし実施した。それぞれの事業の概略は、以下のとおりである。

(1) 課題解決に向けたプロジェクトメイキング

① 九州SDGsダイアログの開催

新型コロナウイルス感染症拡大によって顕在化した課題をはじめ、労働人口減少時代に経済活動・地域社会・暮らしが直面する地域・社会課題を“見える化（言語化）”し、地域企業が培ってきたソリューションやスキル（シーズ）と結び付け、解決に向けたビジネスマッチングやプロジェクトメイキング等に取り組んだ。

第1回、第2回については、地域企業が有するソリューションやスキル（シーズ）と九州の社会的課題や自治体等の地域課題（ニーズ）を結びつけ、課題解決に向けたプロジェクトメイキングを行うことを目的に実施した。

第3回については、社会課題解決のシーズを有する会員企業によるプレゼン会という形で、聴講者は自治体のみに限定せず会員企業に広く告知し、発表テーマも環境や健康福祉、地域活性化など幅広く受け付けて実施した。

② ダイアログコーディネート事業

全3回の九州SDGsダイアログの実施後には、自治体側と企業側（第3回についてはプレゼン発表者と聴講者）それぞれに対し、継続協議についてのアンケートへの回答を依頼した。双方がダイアログ継続を希望した場合には、意向に応じて適宜フォローアップを行った。

双方の担当者連絡先やコメント等を共有し、直接担当者間でやりとりを進めていただくケースや、改めて面談の場を設定するケースなど、意向に応じて柔軟に対応した。なお、面談の実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、オンライン面談により実施した。面談にあたっては、コーディネーターである株式会社 YOUI 原口氏も交え、企業側の希望に合わせて提案内容等の事前整理を行った。その上で面談当日も事務局・コーディネーターが同席し、円滑な進行や充実した対話の実現に向けてサポートを行った。

現在も継続してやり取りが続いている状況で、来年度以降の取組実現を模索している段階である。

（２）フォーラム総会及び記念イベントの開催

九州SDGs経営推進フォーラムの活動報告や今後の活動計画の報告、分科会の活動紹介を行うこと及び、2つの講演を通じて、地域企業がSDGs経営に取り組む意義や、九州の地域・社会課題解決に向けた地域企業（中小企業）の活躍可能性や期待を共有し、自分事としてSDGsを推進していく方法について会員と共に考えることを目的として、「九州SDGs経営推進フォーラム2020 総会・シンポジウム」を実施した。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応のため、オンラインライブ配信のみで実施した。オンラインライブ配信での開催でも登壇者と参加者の双方向での意思疎通や臨場感のあるクロストークができるよう、当日はリアルタイムでチャットでの質問受付を行った。チャットに寄せられた質問のうち時間の都合で回答できなかったものについても後日回答し参加者へ共有した。

参加登録者数は233名であった。終了後のウェブアンケートでのシンポジウムに対する全体評価も良好であった。以上より、総会・記念イベントを通じて、SDGs経営に対する理解を深める場とすることができ、当初に掲げた「地域企業がSDGs経営に取り組む意義や、九州の地域・社会課題解決に向けた地域企業（中小企業）の活躍可能性や期待を共有し、自分事としてSDGsを推進していく方法について会員とともに考える」目的を果たすことができた。

（３）運営委員会の開催・運営

フォーラム事業の活動計画等について検討し円滑な実施を図るため、フォーラムに運営委員会を設置し、本事業では10月、2月の2回開催した。

運営委員会では、ビジネスマッチングについて、対面式であると、どうしても福岡を中心に動いていくが、オンラインであれば遠隔地から企業を呼び込めるので、そこを強化したほうが良いといった意見や、分科会活動の選定時等、会員の活動について現段階では取組を広く見ていこうという意見があった。

また、今後は2025年までにSDGs実装企業を250社生み出すという目標は妥当である。ただし、SDGsを実装する企業の定義や、モニタリングの方法を確認しなければならない段階になってきているという意見が上がった。そのほか、SDGsという観点からまだ認識をして捉えていないだけで潜在的に既に事業活動に取り組んでいる事業者がかなり見受けられるため、2021年度事業については、取り組むSDGsの各ゴールから自社の事業をレビューし、取組のブラッシュアップにつなげる機会を提供していくことの必要性などが意見として挙がった。

（４）オンラインセミナーの開催

九州の地域企業や自治体等のフォーラム会員がSDGs経営について学び、理解を深めるための「SDGs経営・オンラインセミナー」（計3回）を実施した。第1回はSDGs

初心者向け「SDGs×企業・入門編～世界の潮流を経営に活かすには～」、第2回はSDGs社内担当者向け「企業経営・事業展開の応援旗としてのSDGs」、第3回は経営者を主な対象として「SDGsにどう取り組むか～企業事例を参考に～」というテーマで実施した。各回で100名超（関係者含む）に参加いただいた。終了後のWEBアンケートでも、各回で「非常に参考になった」「参考になった」が90%を超えた。これにより、各レベルにおけるSDGsの理解促進を図ることができた。

（５）分科会勉強会の開催

九州SDGs経営推進フォーラムでは、会員によるSDGsの普及や実践につながる多様な取組（自主事業）に、フォーラムとして連携・推進を図るため、フォーラム会員（法人・団体、個人）により構成される分科会を募集し、12の分科会が活動を行っている。なお、令和2年度では、分科会で実施する勉強会について講師謝金の一部を助成した。「アートで考えるSDGsプロジェクト」が、補助事業を利用し『「アートで考えるSDGs」プロジェクト公開ラジオ分科会』（開催日：令和3年3月9日、14時～16時）を実施した。

（６）パートナー企業ダイレクトリーの作成

SDGsの普及・啓発やSDGs経営のサポートを行う企業、SDGsのゴール達成や地域・社会課題の解決に向けたソリューションやスキルを有する企業等27社を、フォーラムのパートナー企業として位置づけ、ダイレクトリーを作成した。掲載する内容は、企業の概要及び提供可能なサービスやシーズ等である。まず九州経済産業局のウェブサイトにて、一覧表形式の情報を先行公開した。別途、写真やパートナー企業からのメッセージ等を追加したダイレクトリーを公開する。

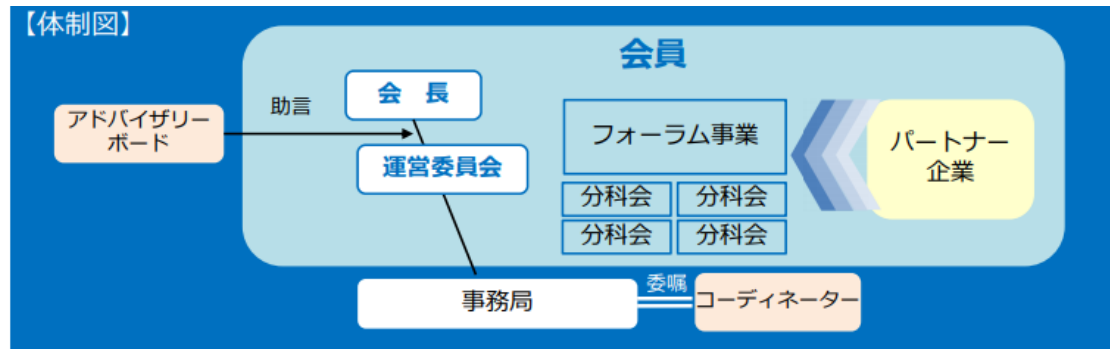
（７）SDGs経営推進ハンドブックの作成

地域企業のSDGs経営推進のため、取組のポイント等をまとめた冊子「SDGs経営推進ハンドブック」を制作した。冊子の内容は、SDGsの概要、企業がSDGsに取り組む意義、フォーラム概要、課題解決取組事例紹介、支援策等である。1,000部を発刊している。

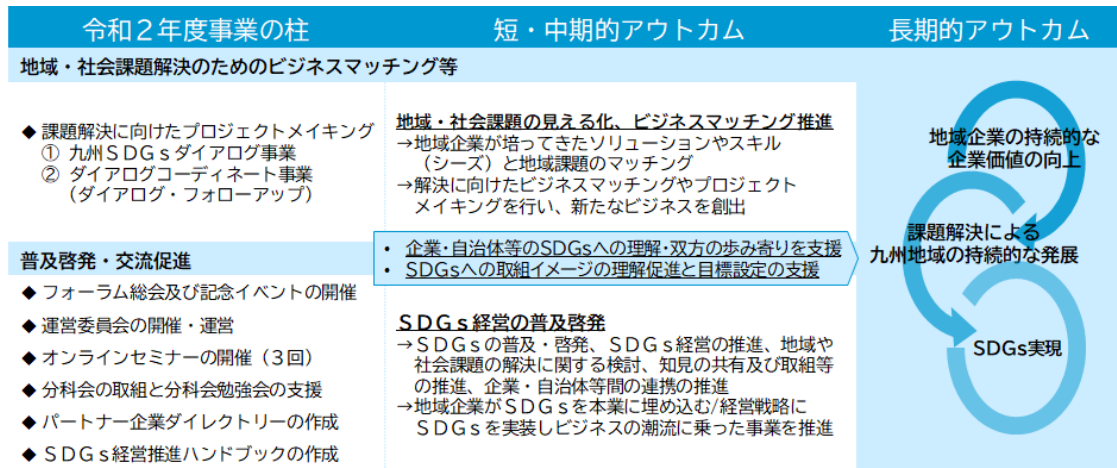
（８）総括

令和2年度の事業では、地域・社会課題解決のためのビジネスマッチング等とSDGs経営の普及啓発・交流促進を目的に、SDGsという共通のテーマを切り口に産学官金の垣根を超えた連携を促す仕掛けを提供してきた。今後も引き続き、SDGsの普及啓発及び多様な主体との対話の場づくりと、SDGs経営支援、会員ニーズの把握・対応、会員拡大強化の一体的な取り組みが求められている。

九州SDGs経営推進フォーラム運営体制



九州SDGs経営推進フォーラムの事業の柱と目指すアウトカム（結果）のイメージ



Ⅱ. 事業の実施結果

1. 九州SDGsダイアログ

新型コロナウイルス感染症拡大によって顕在化した課題をはじめ、労働人口減少時代に経済活動・地域社会・暮らしが直面する地域・社会の課題を“見える化（言語化）”し、地域企業が培ってきたソリューションやスキル（シーズ）と結び付け、解決に向けたビジネスマッチングやプロジェクトメイキング等に取り組んだ。手法を分け、全3回実施した。

(1) ニーズ主導ダイアログ（第1回・第2回）

第1回、第2回については、地域企業が有するソリューションやスキル（シーズ）と九州の社会的課題や自治体等の地域課題（ニーズ）を結びつけ、課題解決に向けたプロジェクトメイキングを行うことを目的に実施した。事業のフローは以下のとおりである。

九州SDGsダイアログのフロー（第1回・第2回）

社会課題 (自治体等)募集	九州経済産業局のホームページより、民間セクターと連携して課題解決に取り組みたい自治体等から社会課題・地域課題を募集
↓	
参加自治体等の選定	応募書類より、社会課題が明確で、企業へ提供できる資源や実証フィールドの準備が可能な自治体・団体を選定
↓	
参加自治体への ヒアリング	コーディネーターも同席の上、ヒアリングを実施 自治体の現状・課題をより明確化し、2030年に向けたビジョンやダイアログのポイントをまとめた「ダイアログシート」を作成
↓	
解決策(企業)募集	九州SDGs経営推進フォーラムの会員企業等に対し、「ダイアログシート」を提示し、自治体等における地域課題を共有し、シーズを提案できる企業等を募集
↓	
シーズ企業等の選定	自治体側に企業側のシーズに関する情報を提供し、面談を実施する企業を選定。ダイアログのタイムテーブルを調整
↓	
ダイアログの開催	Microsoft Teams によるオンライン会議を利用
↓	
フォローアップ	ダイアログに参加した自治体・企業の双方にWEBアンケートによる今後の継続協議の希望を聞く 双方の継続協議希望があれば継続してフォローを行う

① 参加自治体等の選定（ニーズ主導：第1回・第2回）

九州経済産業局のホームページより、民間セクターと連携して課題解決に取り組みたい自治体等から社会課題・地域課題の募集を行った。

参加自治体確定後には、課題を明確化するために、各自治体に対して1時間程度のオンラインヒアリングを行い、コーディネーターが課題の見える化（ダイアログシート作成）を行った。

■第1回

【募集期間】2020年8月14日～2020年8月28日

【応募数】8件（内訳：自治体5件、団体3件）

■第2回

【募集期間】2020年10月22日～2020年11月6日

【応募数】2件（内訳：自治体2件）

② 参加企業の募集（ニーズ主導：第1回・第2回）

参加企業の募集にあたっては、ウェブ上に参加募集ページを作成し、ダイアログシートを公開した上で、ウェブアンケートを通じて申込を受け付けた。計6社から申込みがあり、全て受け付けた。各社から事前に提案事項や会社概要などの資料を収集し、自治体と共有した。

■第1回

【募集期間】2020年10月2日～10月7日

【参加企業】計11社（飯塚市：5社、菊池市：3社、日出町：3社）

■第2回

【募集期間】2020年11月16日～2020年11月19日（※24日まで延長）

【応募数】計6社（基山町：4社、宗像市：2社）

③ 開催概要（ニーズ主導：第1回・第2回）

第2回に参加予定であった宗像市は、ダイアログ前日に発生した鳥インフルエンザへの対応のため当日キャンセルとなり、後日実施する方向で調整することとなった。

【開催日時】

■第1回 2020年10月13日（火）13時～17時 福岡県飯塚市、熊本県菊池市
 2020年10月16日（金）13時～17時 大分県日出町

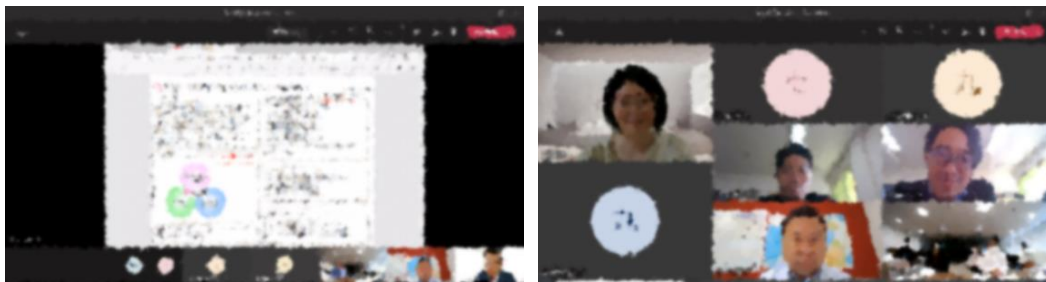
■第2回 2020年11月25日（水）13時～17時 基山町、宗像市

【実施方法】 Microsoft Teams によるオンライン会議

【プログラム】 1 社あたり 40 分

- ・ 開始～5 分程度：接続確認、参加者挨拶（進行：事務局）
- ・ ～3 分程度：ダイアログシートの紹介（進行：コーディネーター）
- ・ ～5 分程度：企業より説明。その後、質疑応答
- ・ 終了時間 3 分前：事務連絡等

【ダイアログの様子】（個人情報・秘密保持の観点より加工処理済）



【参加自治体とテーマ】

■第 1 回

- ・飯塚市 With コロナ・After コロナに対応した働き方支援の取組
～子育てしやすいまちづくりを目指して～
- ・菊池市 ポストコロナ社会における地域経済(商業・観光分野)の循環
- ・日出町 地域の学びと持続可能な社会

■第 2 回

- ・基山町 高齢化社会における地域コミュニティと一人暮らし高齢者世帯支援
- ・宗像市 「世界遺産の海」を思う気持ちをつなぐ

【参加自治体の課題詳細（ダイアログシート）第1回】

SDGsダイアログ ダイアログシート

タイトル

「Withコロナ・Afterコロナに対応した働き方支援の取組
～子育てしやすいまちづくりを目指して～」

自治体名 福岡県・飯塚市

人口 12.91万人

担当部署 子育て支援政策課、子育て支援課、総合政策課

現状・課題

- ・ 待機児童の解消や子どもの貧困対策など様々な事業を行っているが、保育士確保・離職防止が最重要課題である。
- ・ また、自らの子育て等により退職した保育士について、復帰を促したい。
- ・ 外国籍の児童が増えており、通訳などコミュニケーションの壁に直面している。
- ・ Withコロナで在宅勤務が進んでいる中、託児なしでは働けない子育て世帯の状況がより鮮明になったが、今後、市が保育所の新設を進めることは難しく、企業主導型保育施設の活用・推進をしていきたい。

2030年に向けたビジョン

- ・ **保育士の働きやすい環境づくりと子育てしやすい飯塚市へ！**
保育現場においてICTを活用して保育士の働き方改革を徹底的にサポートすることで、保育士の負担を軽減し、人手不足への対応のみならず離職率の低下を図る。
- ・ **企業主導型保育施設の活用で「住み働く」をもっと柔軟に！**
市内に10か所ある企業主導型保育施設の活用・推進をすることで地域の保育需要を満たしながら多様化する子育てに関するニーズに対応し、より柔軟に「住み働く」暮らし方を実現していく。

経済

- ・ 子育て世帯における在宅勤務への対応や女性の復職を促し、経済的な生産性向上と消費活性化を図る

環境

- ・ 公の施設より早期に、かつ柔軟に対応可能な企業主導型の保育施設を活用・推進し、保育環境を地域でシェアする

社会

- ・ 保育士が働きやすい環境整備
- ・ 保育機能充実による市民が働きやすく、子育てしやすい環境整備

福岡県飯塚市



ダイアログのポイント

- ・ 保育士確保・離職防止に向けた、働きやすい職場環境整備を実現するためのソリューション（マネジメントノウハウのほか、ICT活用・多言語対応含む）
- ・ 企業主導型の保育施設の活用・推進に関して協力いただける企業

SDGsダイアログ ダイアログシート

タイトル

ポストコロナ社会における地域経済（商業・観光分野）の循環

自治体名 熊本県・菊池市

人口 4.946万人

担当部署 政策企画部市長公室、経済部商工観光課

現状・課題

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響によって、菊池市内の宿泊施設からは「例年の約20%しかお客さんが来ない」との声が上がっており、市内飲食店の来客数も減少していることから、商業・観光分野における経済的な影響を受けている。
- ・ 旅館やホテルを含む商店街の活性化および観光客の呼び起こし・イメージ回復に向けて、菊池市独自の施策として、市内の複数事業者が連携して販路拡大等に取り組み際の補助金（最大500万円、補助率は5分の4）を創設する予定。

2030年に向けたビジョン

- ・ **市内事業者と域外企業とのコラボレーションでコロナ前よりも魅力的な観光地へ！**
ポストコロナ社会においても商業・観光業が潤い、安心して安全に観光客が市内を周遊するまちにしていきたい。そのために、商工会や観光協会などの民間団体が市内だけでなく、域外も含めた様々な企業のテクノロジーやノウハウを取り入れていく。

経済

- ・ コロナ前よりも、観光事業がより持続可能な形に。

環境

- ・ コロナ後の新たな観光様式に合わせた環境整備

社会

- ・ 観光地としての魅力が高まることで、市民の地元への愛着・シビックプライドが生まれる

熊本県菊池市



ダイアログのポイント

- ・ コロナ後の新たな観光の様式に合わせたアイデア、ソリューション
- ・ テクノロジーの新規導入をためらっている中小企業等でも活用しやすいようなソリューション
- ・ 市内事業者と連携し、物産品のデザインや、観光PRの動画撮影など、観光消費額を上げるためのアイデア、ソリューション

SDGsダイアログ ダイアログシート

タイトル

地域の学びと持続可能な社会

自治体名 大分県・日出町
人口 2,852万人
担当部署 生活環境課

現状・課題

- 日出町は、ベッドタウンとして、宅地開発が進んでおり、人口増加対策としては効果を見えている。しかしながら、企業の立地や起案件数は少なく若者の流出は続いている。
- コロナ禍において、地域の存在感が増してきているが、地域ならではの独自性を発見することが難しい。企業とともに日出町らしさとは何かを掘り起こし、地域にある資源・素材の再発見をし、経済や環境、社会問題など複数の課題に取り組むことで、その町らしい地域発展を目指していきたい。

2030年に向けたビジョン

• 日出町と企業との連携で、新しい仕事が次々生まれる町へ！

日出町には、自動車メーカーとも取引を始めた企業や、ロボット開発の企業も立地している。今後も空港との近接性を活かし、宇宙産業も含め、企業の持つ技術・テクノロジーを取り入れ、若い人たちが興味を持てる仕事を作っていく。そして、地域が自分たちの持つ資源を都市部へ供給する場所ではなく、「もともとあった循環型のくらし」に気づき、住むことに豊かさを求めて日出町を選んでもらえるようにしていく。

経済

- 企業連携や研究開発機能を拡充することで、若者が興味を持てる仕事を生み出す

環境

- 豊かな自然環境をこれからも維持していく

社会

- 若者が地域に定着する
- テクノロジーを活用し、仕事と暮らしを両立させる

大分県日出町



ダイアログのポイント

- 地域資源の魅力を理解した上で、付加価値を高められるような企業の関わり。特に、研究開発の機能の設置。
- 他にも、外部資金の調達も含めて、企業と地域との共同事業をコーディネートする企業・団体などとの意見交換。

【参加自治体の課題詳細（ダイアログシート）第2回】

SDGsダイアログ ダイアログシート			佐賀県基山町
タイトル 高齢化社会における地域コミュニティと一人暮らし高齢者世帯支援			
自治体名 佐賀県基山町 人口 1.741万人 担当部署 総務企画課			
現状・課題 - 基山町の老年人口割合（65歳以上）は、推計値で2020年に30%を超過、2035年には40%に達し、佐賀県及び全国よりも早いペースで高齢化が進行する予定である。 - アクセスのよいベッドタウンとして同世代の住民が一気に流入したが、今後子供は町外へ流出し夫婦のどちらかが先立つ事で、近くに身寄りのない一人暮らし高齢者が急増することが予想されている。そのため、孤独死などの問題が生じないように対策を講じなければならない状況である。			
2030年に向けたビジョン コロナ以降も、高齢者を含めた誰もが安心して住み続けることができるまち - 現在も緊急通報システムの家庭への設置や弁当の宅配による安否確認など、高齢者の安否確認に対するサービスはあるが、全員が利用できるわけではない。 - 今後の高齢化社会に適応した、新たな地域コミュニティの維持・活性化を行うことで、誰一人取り残さず、安心な暮らしを送ることができる。			
経済 町のなかに多世代が暮らし、多様なサービスが成り立っている。	環境 コンパクトでエネルギー負荷の小さな都市生活を享受している。	社会 テクノロジーを活用し、安心して老い、暮らせる社会が実現している。	ダイアログのポイント - 新しい生活様式を踏まえた自治会の運営や、安否・健康状態の確認などのソリューションを提案できる団体。 - 情報弱者になりやすい高齢者なども活用できる、地域コミュニティ運営の支援ツールやシステムを構築できる団体。 - 中長期的に基山町に関わり、一部の地域での実証実験レベルから全町展開までの構想を描ける団体。

SDGsダイアログ ダイアログシート			福岡県宗像市
タイトル 「世界遺産の海」を思う気持ちをつなぐ			
自治体名 福岡県宗像市 人口 9.673万人 担当部署 経営企画部 経営企画課			
現状・課題 - 宗像市は4つの島を有しており、その一つである沖ノ島の持つ文化的伝統は約15年にわたる市民を中心とした推進活動の末、2017年7月にユネスコ世界文化遺産に登録された。また、2020年度には「世界遺産の海」をテーマとしたSDGs未来都市に選定されるなど、豊かな環境保全と賑わい創出の好循環を生み出す持続可能な地域づくりに努めている。 - 一方で、それらの活動について市内外での周知が進んでおらず、より多くの市民・事業者への取り組みを知ってもらい、SDGs推進を行いたいと考えている。			
2030年に向けたビジョン 「世界遺産の海」の伝統を市民全体で守り、「ときを紡ぎ躍動するまちむなかた」へ 海の保全を含めた宗像市が行っているSDGsの取り組みについて市職員・市民の誰しもが知っており、自他ともに「宗像といえばSDGs」と言えるようなまちづくりを近隣の企業や地域団体を含めた多様なステークホルダーとともに進めている。			
経済 水産資源の6次産業化などを通じて企業や地域団体とともに経済の持続可能性と環境保全を両立させる。	環境 「世界遺産の海」を多くの関係者とともに守り続けていくことができる。	社会 「世界遺産の海」SDGsの取り組みについて市民がシンビックプライドを感じる。	ダイアログのポイント 「世界遺産の海」を切り口としたPRや、PRに繋がるような海の環境保全についての事業を共に実施できる企業。 - 宗像市に隣接し、同じくSDGs未来都市に指定されている福津市とともに広域でのSDGs推進について企画・提案できる企業。 - 水産資源の6次産業化などを含めた、海の環境保全に関する提案ができる企業。

④ 実施結果（ニーズ主導：第1回・第2回）

■第1回

ダイアログの結果、参加企業 11 社すべてが、継続協議の希望ありと回答した。

自治体については、飯塚市が 2 社、日出町が 1 社との継続協議の希望を示し、菊池市は希望なしという結果となった。飯塚市、日出町についてはコーディネート事業に移行し、自治体が希望する企業との面談などのコーディネートを行った。

ダイアログを通じた感想や質問、事務局やコーディネーターへの意見は以下の通りである。対話の場や今回の機会について、参考になったという意見が多かった。

【自治体コメント】

- ・ 各企業様から直接ご提案などのお話をお聞かせいただき、すぐにでも取り組める内容のヒントをいただけた。非常に参考になった。
- ・ ダイアログ当日が完全な初見ということにならないように、自己紹介シートのようなものがあればスムーズに入れるのでは。
- ・ 企業の方も地域をリサーチして頂いていることが理解できたが、自治体と仕事をするという関係ではなく、地域で仕事を作るという企業を紹介して頂きたい。

【企業コメント】

- ・ 今後の予定として、ダイアログの回数や期限などを知りたい。
- ・ 今後、継続的協議となれば、どのようなスケジュール感で進めていく予定なのか教えて頂きたい。
- ・ 次回以降、更なる掘り下げにて課題を解決できるようにしたい。
- ・ このような機会はとてもありがたく、別の機会もあればチャレンジしたい。
- ・ 自治体担当者の話がとても率直で、共感できる部分や、今後への危機感などがとても伝わった。よい機会を頂いた。
- ・ 非常に良い試みだと感じた。役に立つ取組がありましたらお手伝い出来れば。
- ・ 自治体側が客観的に自分たちの現状を理解されており、とてもお話がしやすかった。
- ・ コーディネーターの進行や意見の集約が明確で簡潔なのはすごく良かった。分かりやすかった。
- ・ マッチングの限られた時間で、お互いの共通点などを言葉にして頂ける進行役（ファシリテーター）がおられるので、双方の現時点の認識ができつつ、話が進められた。

■第2回

実施後の参加者アンケートにおいて、参加企業4社のうち2社が、継続協議の希望ありと回答した。また、基山町からは、4社のうち2社（※企業の意向と合致しないものも含む）との継続協議の希望が示されるとともに、他の企業についても「引き続き幅広に意見交換等を行いたい」との回答があったため、コーディネート事業に移行し、参加企業4社すべてと面談などのコーディネートを行った。

【自治体コメント】

- ・ 現状では全く接点の無い企業やその企業の提案を聞くことができとても良かったと思います。また、先方からの質問で当方の整理が必要なところや、もっと詰めるべきところなどを再確認できたのではと感じております。
- ・ 引き続き、幅広に意見交換等を行いたいの、関わりたいという企業があれば教えていただきたいです。また、高齢化社会における課題を企業や地域ぐるみなどで検討している取組があれば今後の参考にしたいので、教えてください。

【企業コメント】

- ・ この度は、このような機会をいただき、大変感謝申し上げます。
- ・ 今回のダイアログでは、自団体の事業の提案を主に行いました。しかし、お話を進めるにつれて、自治体内の既存サービスや自治体組織などに、新しいサービスを構築するための「教育体系」や継続するための「フォロー体系」の構築を自治体さまと共に推進していくことの提案をさせていただく方が、より地域に密着したサービスを提供できると思いました。機会があれば、この点について意見交換できると幸いです。
- ・ コーディネートいただきありがとうございました。かなりお互い手探りな感じでしたので、もう少し打合せのような雰囲気でお話しできればよかったかなと思います。
- ・ SDGsダイアログでは、なるべく新規性のある提案を心掛けました。現状から打破するべく取り組むのであれば、これまでに実施されなかったことに目を向けてみることも大切で、それらが今後の新たな道標となる可能性もあるかもしれません。

(2) シーズ主導ダイアログ（第3回）

第3回ダイアログの開催にあたっては第2回までの振り返りを行うとともに実施方法の検討にあたってフォーラム会員に対して、ダイアログ事業への要望等に関するアンケート調査を実施した。その中で、「企業のシーズ発表の機会を作ってほしい」という要望が寄せられたことも踏まえ、第3回では、社会課題解決のシーズを有する会員企業によるプレゼン会の形を企画した。

多様な協働を生むきっかけの場とすべく、聴講者は自治体のみに限定せず会員企業に広く開放し、発表テーマも環境や健康福祉、地域活性化など幅広く受け付けた。またSDGsをテーマに協働することに対して、プレゼン企業と聴講者の理解促進ならびに意思統一を行えるよう、コーディネーターによる事前セミナーも実施した。

① プレゼン企業の選定（シーズ主導：第3回）

九州経済産業局のホームページ及び九州SDGs経営推進フォーラム会員向けメルマガにて、地域・社会課題を解決するソリューション等についてプレゼンの意向を有する企業・団体等の募集を行い、12者を選定した。

【募集期間】 2021年1月18日～2020年1月29日

【応募数】 13者（うち1者は辞退）

② 聴講者の募集（シーズ主導：第3回）

聴講者の募集にあたっては、九州経済産業局のホームページ及び九州SDGs経営推進フォーラム会員向けメルマガジン、九州経済調査協会ホームページ、九州経済調査協会メルマガジンを活用し、計65者から申込みがあった。

【募集期間】 2021年2月8日～2021年2月15日

【応募数】 65者

③ 開催概要（シーズ主導：第3回）

【開催日時】 2021年2月17日（水）13時30分～17時30分

【実施方法】 Microsoft Teams によるオンライン会議

【プログラム】

■13:30～ 挨拶・プログラム説明

■13:45～14:45（60分）

<事前セミナー> 「SDGsをテーマに協働するとは？」

講師 株式会社YOU I 原口 唯 氏

（九州SDGs経営推進フォーラムコーディネーター）

■14:55～17:25（150分）＜プレゼン会＞各社につき30分（質疑応答を含む）

・プレゼン会① 14:55～15:25

株式会社杉本商店、グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン サプライチェーン分科会（普及促進WG）、ヴァイサラ株式会社

・プレゼン会② 15:35～16:05

株式会社中村製材所、株式会社モリサワ、株式会社オーイーシー

・プレゼン会③ 16:15～16:45

一般社団法人九州循環共生協議会、株式会社プリミティブ・ドライブ、株式会社サティスファクトリー

・プレゼン会④ 16:55～17:25

Vegan&bio Marche'（ヴィーガン&ビオマルシェ）、九州キャリア研究所、特定非営利活動法人 YNF

■17:25～17:30＜閉会＞ 全体の Q&A 等の受付、WEB アンケートの案内等

■ 当日の様子（参加者情報等については秘密保持の観点より加工処理済）



④参考資料

発表者募集チラシ



九州SDGs経営推進フォーラム 第3回九州SDGsダイアログ 課題解決プレゼン会（発表者募集）

九州SDGs経営推進フォーラム（事務局：九州経済産業局）では、地域・社会課題解決に向けたプロジェクトメイキングのきっかけづくりとして、ビジネスマッチング「九州SDGsダイアログ」を実施しています。

第3回では、地域・社会課題を解決するソリューション等をお持ちの企業・団体等からのプレゼン会を開催します。開催後には、参加者（聴講者）へのアンケートをもとに、面談の機会づくりなどのフォローアップを行います。

SDGsの視点を持って、地域課題、社会課題を解決するソリューションや技術を提案プレゼンテーションいただける企業・団体等を募集いたします。会員間連携の機会としてもぜひご活用ください。皆様のご応募をお待ちしています。

課題解決プレゼン会

開催日	2021年2月17日（水）13:30～17:00（Microsoft Teams利用によるオンライン開催）
主催	九州SDGs経営推進フォーラム、九州経済産業局
参加費	無 料
プログラム 実施のイメージ （予定）	13:30～13:45（15分）挨拶・プログラム説明 13:45～14:45（60分）セミナー：多様な主体と連携し、地域・社会課題の解決に向かうためのポイントを共有します。 *発表者は必ずセミナーにご参加ください。 14:55～15:25（30分）プレゼンテーション① 15:35～16:05（30分）プレゼンテーション② 16:15～16:45（30分）プレゼンテーション③ 16:45～17:00（15分）全体のQ&A等の受付、webアンケートの案内等

* 各回2～3社程度を並行して開催。
* 具体的な開催方法は後日ご案内します。

発表者募集

募集概要	■募集対象：地域課題、社会課題を解決するソリューションや技術を有する九州SDGs経営推進フォーラム会員企業・団体等 ■募集数：10者程度（予定） ■プレゼンテーション時間：30分（質疑応答を含む）※時間厳守 ■応募方法：応募様式 https://questant.jp/q/KSDGsdialog20seeds3 に必要事項を記入。その他資料は research1@kerc.or.jp へ送付 ■注意事項：申込多数の場合には、テーマや資料等を拝見した上で、参加を調整させていただきます。あらかじめご了承ください。 発表開始時間は事務局より後日ご相談申し上げます。 ウェブ環境の設定、開催に伴う費用は、応募者の負担となります。
応募期間	2021年1月29日（金）17:00まで
お問い合わせ先	【九州SDGsダイアログについて（受託事業者）】 （公財）九州経済調査協会調査研究部（担当：原口、平松、佐藤、池松、大谷） TEL：092-721-4905 Mail：kyushu-sdgs@meti.go.jp 【九州SDGs経営推進フォーラムについて】 事務局：九州経済産業局 総務企画部 企画調査課内（担当：春口、神原、徳永） TEL：092-482-5414 Mail：kyushu-sdgs@meti.go.jp



聴講者募集チラシ（表面）

九州SDGs経営推進フォーラム 第3回九州SDGsダイアログ 課題解決プレゼン会 聴講者募集

2/17 **水** **13:30~17:30**
オンライン開催（Microsoft Teams利用）

参加費無料
2月15日（月）17時
申込バッチ

九州SDGs経営推進フォーラム（事務局：九州経済産業局）では、地域・社会課題解決に向けたプロジェクトメイキングのきっかけづくりとして、ビジネスマッチング「九州SDGsダイアログ」を実施しています。

第3回では、地域・社会課題を解決するソリューション等をお持ちの企業・団体等からのプレゼン会とし、課題解決のヒントや取組について発表いただきます。SDGs導入、環境、健康福祉、まちづくり、教育、子育てなど、多様なプレゼンを予定しています。ぜひ、お気軽にご参加ください。

開催後は、参加者（聴講者）の皆様へのアンケートをもとに、ご希望に応じて面談の機会づくりなどのフォローアップも事務局にて行います。皆様のご参加をお待ちしています。

プログラム

13:30~	挨拶・プログラム説明
13:45~14:45（60分） 【セミナー】	【セミナー】SDGsをテーマに協働するとは？（仮） 多様な主体と連携し、地域・社会課題の解決に向かうためのポイントを共有します。 <u>*プレゼン会にお申込みいただいた方にご案内いたします。</u> 【講師】（株）YOUI 原口 唯 氏（九州SDGs経営推進フォーラムコーディネーター）
14:55~17:25（150分） 【プレゼン会】 ※登壇企業については別紙をご参照ください。	14:55~15:25（30分）プレゼン① 15:35~16:05（30分）プレゼン② 16:15~16:45（30分）プレゼン③ 16:55~17:25（30分）プレゼン④ *登壇企業の時間割とプレゼン内容は別紙、 ならびに告知webサイト上にてご紹介しております。ぜひ、ご覧ください。 *質疑応答を含めて30分で区切りです。
17:25~17:30	閉会 全体のQ&A等の受付、webアンケートの案内等

申込方法

※事前のお申し込みが必要です。2月15日（月）17時バッチ。

参加申込フォームより、お申し込みください。

■参加申込 <https://questant.jp/q/KSDGs20dialog3>

※会員でない方は、お申し込み後に会員登録をお願いいたします

■会員登録 <http://urx.space/wfyx>

参加申込



【注意事項・個人情報利用】

- ・ネット配信サービスMicrosoft Teamsにてライブ配信いたします。視聴にかかる通信費等は視聴する方の負担となります。
- ・お申込みの受付を確認するメールは送付いたしません。視聴用URLは開催日前日にお申し込み頂いたメールアドレスへご案内いたします。
- ・当日のアクセスは参加者の責任において行ってください。視聴環境により、ご覧いただけない場合や映像・音声が見れる場合があっても、プレゼン時間は延長しませんのでご了承ください。
- ・参加にかかるURL・パスワードは申込参加者限りです。第三者への転送・譲渡はできません。
- ・本セミナー、プレゼンテーションの録画・録音、第三者への提供は固く禁じます。
- ・いただいた個人情報は、本事業運営以外の目的には使用いたしません。また、状況により、中止となる可能性があることをご承知置きください。

主 催：九州SDGs経営推進フォーラム、九州経済産業局

問合せ先：（公財）九州経済調査協会 調査研究部

（事業受託先） TEL：092-721-4905 Mail：

担当：原口、池松、佐藤、平松、大谷

.ip

聴講者募集チラシ（裏面：プレゼン企業紹介）

プレゼン企業 (テーマ)  健康福祉  環境  SDGs導入  まちづくり  教育  子育て			
テーブル①		テーブル②	テーブル③
14:55～15:25 (30分)	杉本商店 地域特性と林福連携を用いた持続可能な事業    特産物の椎茸の栽培による地域経済循環の創出と林福連携事業について	グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン サプライチェーン分科会 (普及促進WG) GCNJ版CSR調達お役立ちツールご紹介 CSR調達・サプライチェーン 中小企業にも関連するCSR調達の理解促進ツール (解説書・質問集・ゲーム等) 開発の背景並びに活用について	ヴァイサラ コロナ禍での換気対策とアフターコロナのセンサー活用術  センサーの数値を元にした効率の良い新型コロナウイルスの換気対策方法と、アフターコロナの活用事例の紹介
15:35～16:05 (30分)	中村製材所 次世代へ繋ぐ、資源に負荷をかけない!!    環境に配慮した観点から森林資源と業界の課題を解決する製品「SKINWOOD」について	モリサワ 伝えるから 伝わるへ、情報発信の取り組み    文字の見えやすさ向上で情報取得を支援する「UDフォント」とデジタルデバイス活用した情報発信「MCCatalog+」について	オーイーシー 地域活性化に繋がる4つの問題解決手法    ①自治体向けドローン飛行場所管理ツールDUCT、②ドローンプログラミング体験、③ドローンサッカー、④Health Checker for cloud のご紹介
16:15～16:45 (30分)	九州循環共生協議会 SDG s パンププロジェクト   竹やぶ整備による生物多様性保全・土砂災害予防や、障がい者就労支援、および、竹の産業化を通じた「地域循環共生圏」と「SDG s 共鳴型サプライチェーン」の構築	プリミティブ・ドライブ アジアとの比較調査で見えてきたSDGs  マーケティングリサーチ アジアと比較した福岡におけるSDGsに対する認知・関心度調査の結果と、今後必要な調査、SDGsの取組促進のための課題について	サティスファクトリー 再生材99%使用ごみ袋 FUROSHIKI   使用することで1袋あたりCO ₂ の削減量が数値的に把握できる上に廃プラスチックの排出削減にも寄与するごみ袋 FUROSHIKIのご紹介
16:55～17:25 (30分)	ヴィーガン&ビオマルシェ 街の中でも循環する環境に良い暮らし方       ヴィーガン (動物性食品不使用) ランチとエコグッズや伝統文化などのワークショップ、オーガニック野菜販売やコンポストの提案などの活動紹介	九州キャリア研究所 キャリアジム: 「個」を高めるHRD事業    ジェンダー 次世代人材育成、ミレニアル世代のワークライフバランスや女性の社会進出、管理職育成支援等、人生100年時代へのキャリア教育事業について	YNF 住まいの再建支援ツール「リブラ」     災害支援  自治体向け 被災時に利用するには複雑な災害支援制度を、被災者 (利用者) 自身が理解し、利用できる制度の理解促進するWEBツール「リブラ」のご紹介
17:25～17:30 事務連絡 (全体のQ&A等の受付、webアンケートの案内 等)			
問合せ先: (公財) 九州経済調査協会 調査研究部 担当: 原口、池松、佐藤、平松、大谷 (事業受託先) TEL: 092-721-4905 Mail: info@kyu-eisaku.co.jp			

④ 実施結果（シーズ主導：第3回）

イベント終了後には、発表者及び聴講者に対してWEBアンケートの回答をメールにて依頼した。

聴講者向けアンケートによると、プレゼン会の参加満足度について、「非常に満足している」20.7%、「満足している」72.4%、合計93.1%と高い評価となった。事前セミナーについても、「聴講していない」を除くと、「非常に参考になった」40.7%、「参考になった」51.9%、合計92.6%と高い評価となった。また、発表者との連絡先交換や打合せ等を希望する申出が15件あり、フォローアップを行った。

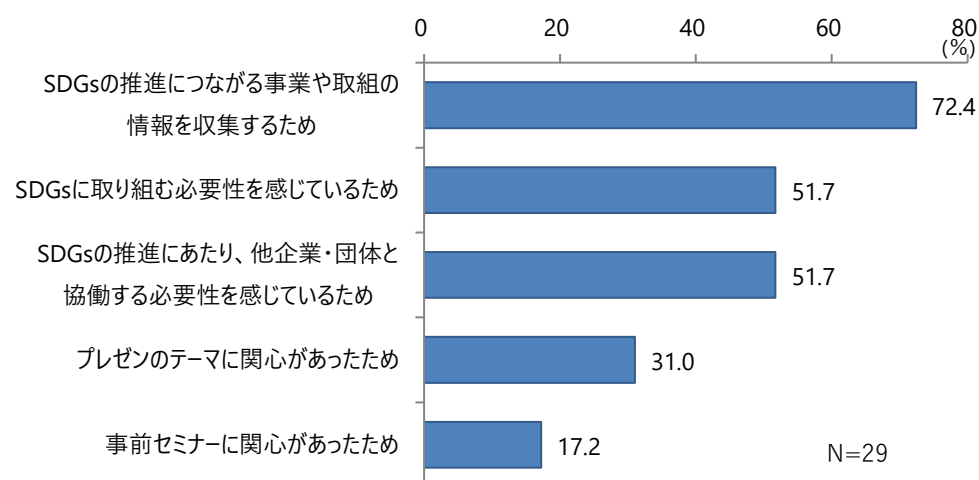
発表者向けのアンケートによると、プレゼン会の参加満足度は90.0%であった（「非常に満足している」30.0%、「満足している」60.0%）。また、事前セミナーの満足度は100%であった（「非常に参考になった」60.0%、「参考になった」40.0%）。

■ 聴講者アンケート

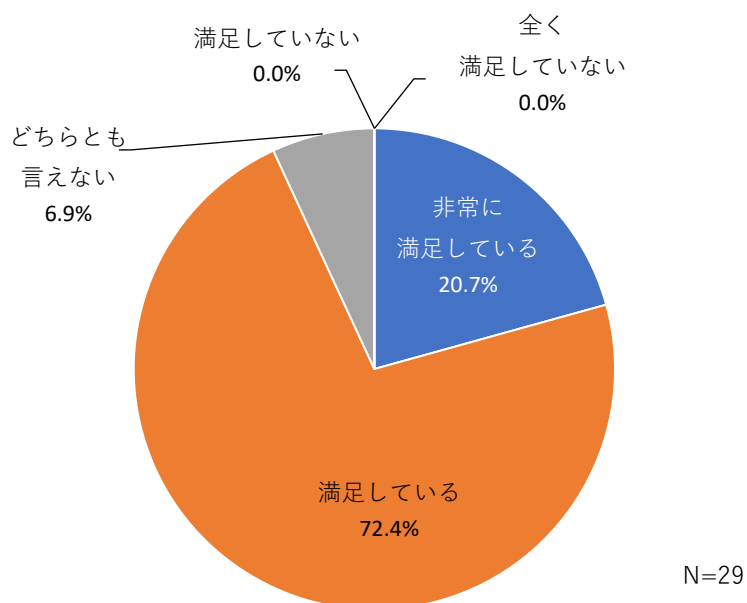
【メール送信数】 65件（登録者数）

【回答数】 29件（回答率：44.6%）

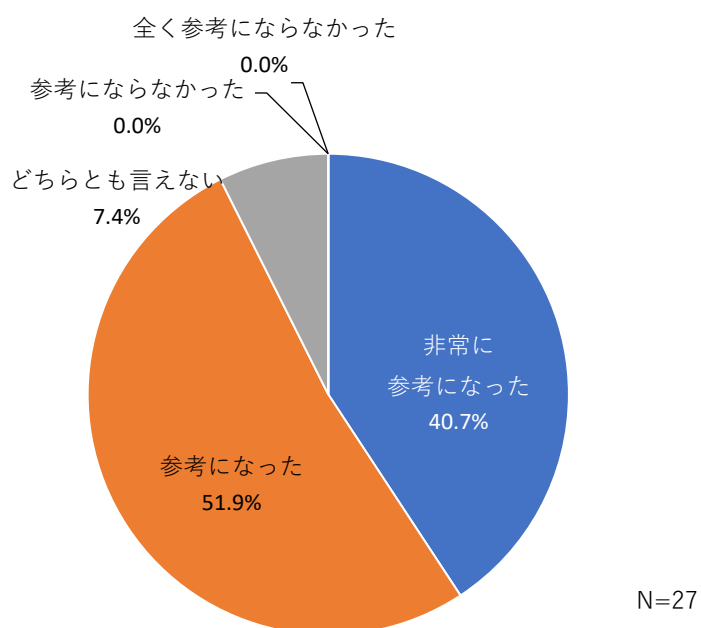
問1 本日の参加目的はどれに当てはまりますか（該当するものすべて選択）



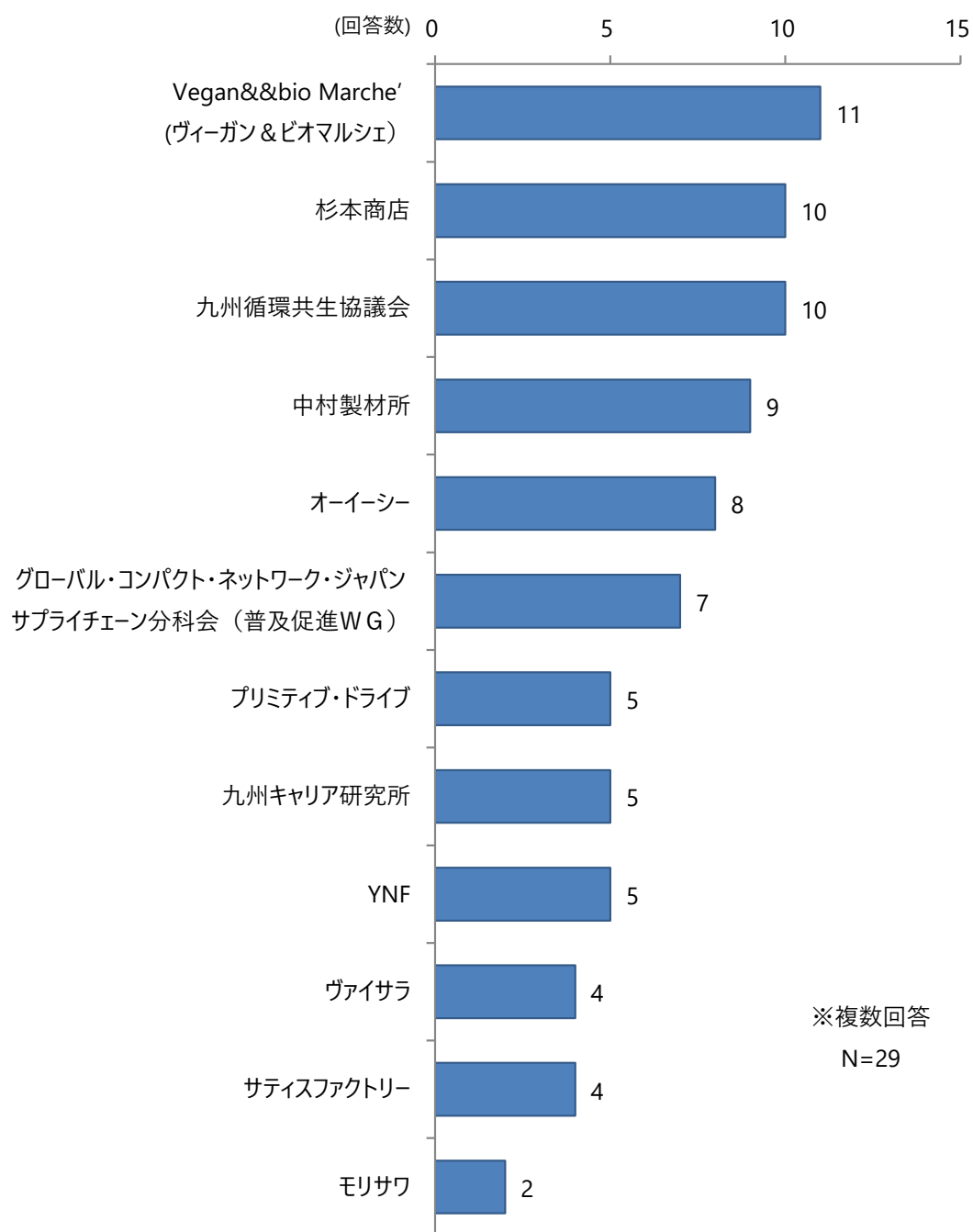
問2 プレゼン会の参加満足度について、教えてください。



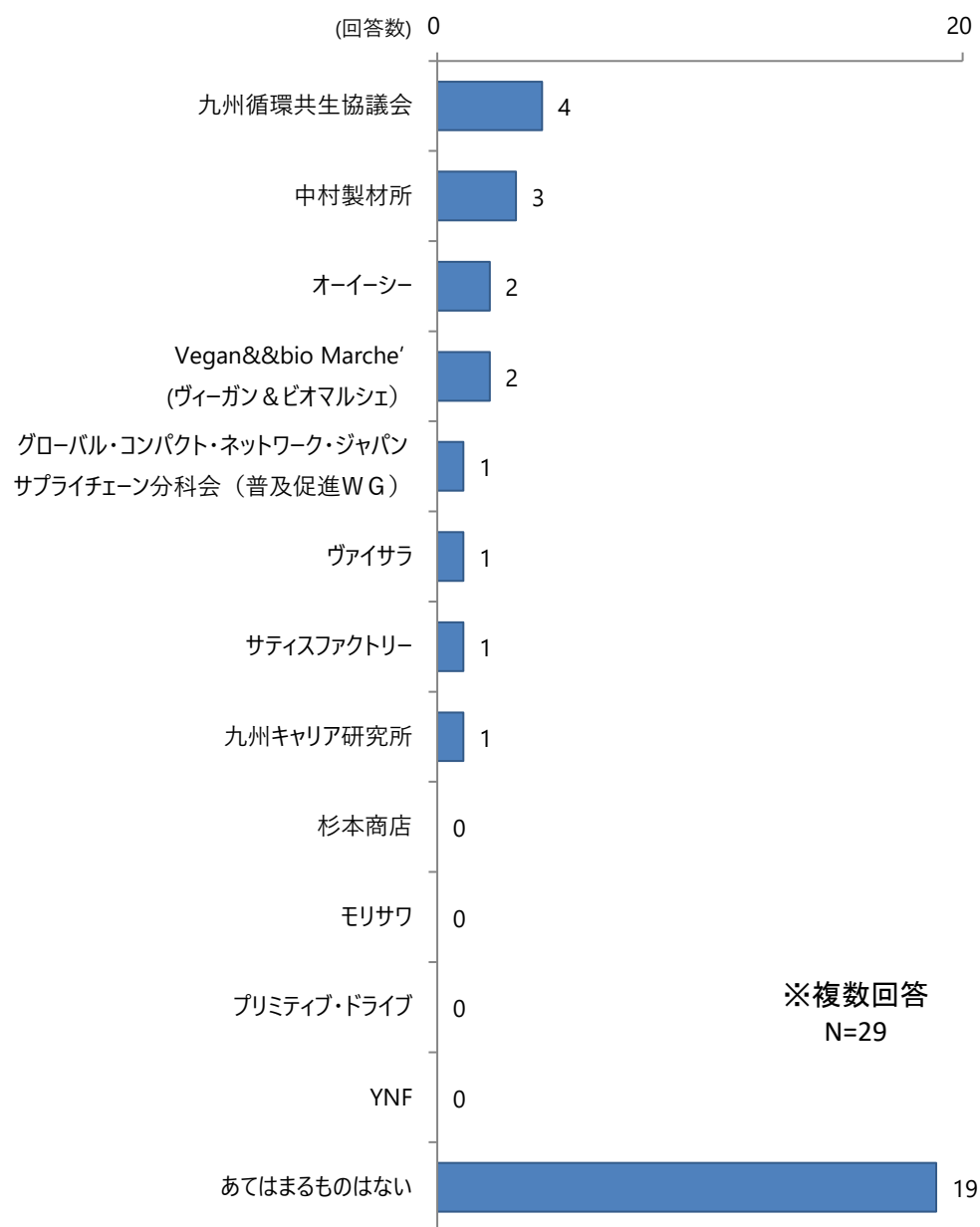
問3 事前セミナー（SDGsをテーマに協働するとは？）は、いかがでしたか。



問4 プレゼンを聴いた企業・団体を教えてください。



問5 プレゼンを聴いて連絡先交換や打ち合わせ等を希望したい企業・発表者がいらっしゃいましたら、教えてください。



問 6 プレゼンを聴いて関心を持った企業・発表者への質問やお伝えしたいことがあれば、ご記入ください。

※回答については、企業・個人情報を含むため不記載

問 7 ご回答いただいた方について教えてください。(任意回答。ただし、連絡先交換等を希望する場合は必須)

※回答については、企業・個人情報を含むため不記載

問 8 今後、コーディネーターを交えて企業と話をしたいこと、やってみたいこと、事務局・コーディネーターへの要望等があればお願いします。

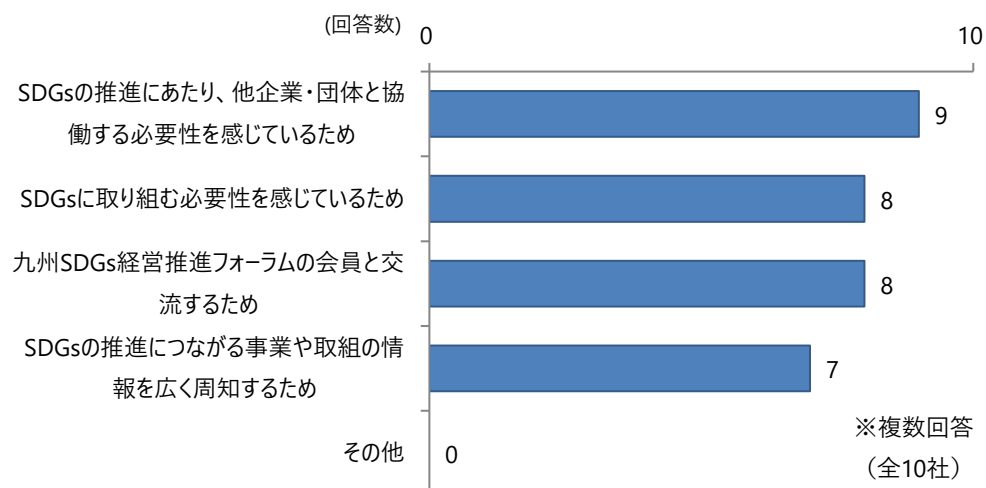
- ・ S D G s 遂行に関する法規制緩和や助成制度情報など。
- ・ 未だ何をどうやって進めればいいのかわからない状況下、基調講演ならびに先進的な企業団体様の取組事例は非常に参考となりました。
- ・ S D G s は共通の最終目標に向かって、法人・個人が組織を超えて取り組むところが面白い点だと思います。企業に所属する皆様も最終的には個人に戻ります。従って個人の意思や意識が一番大切だと思っています。
- ・ 様々な取組の事例から学びたい。
- ・ 開始にあたり接続開始時間と講演開始時間を事前案内メールに表示してもらいたい。1時半前にアクセスして「接続中」表示だったので待っていたが反応なし。アクセスを数回繰り返して、講演途中になってしまった。
- ・ 今後、コーディネーターと弊社が取り組んでいるプロジェクトに、様々な形で時折りご指導を頂きながら、多くの可能性を広げて行きたいと考えております。

■ 発表者アンケート

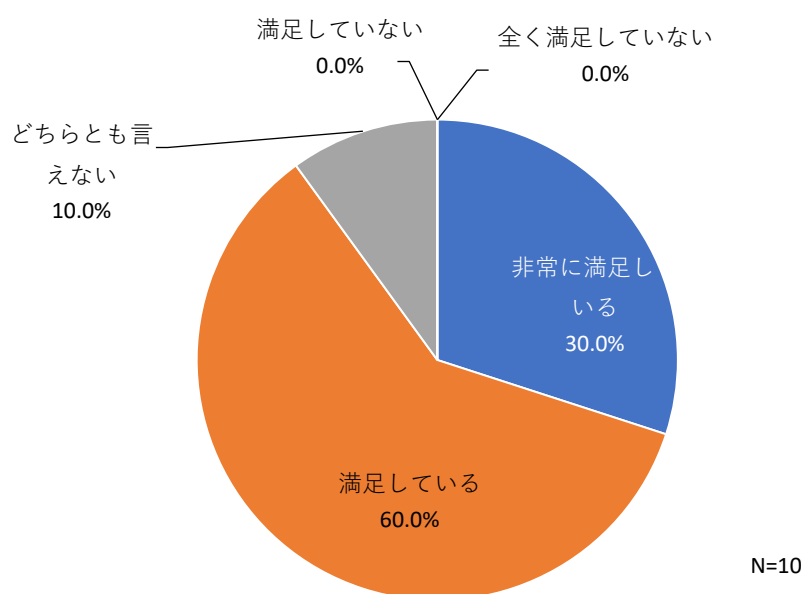
【メール送信数】 12 件（発表者：12 者）

【回答数】 10 件（回答率：83.3%）

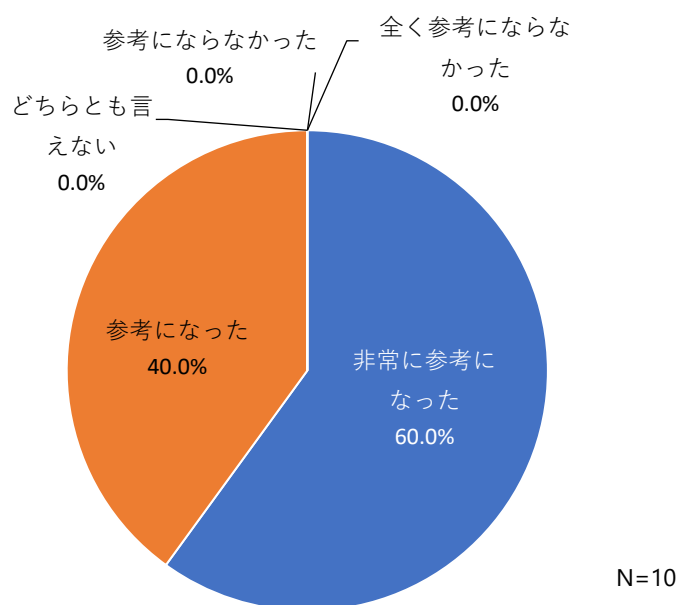
問1 本イベントに参加した動機について教えてください。（あてはまるものを全て選択）



問2 プレゼン会の参加満足度について、教えてください。



問3 事前セミナー（SDGsをテーマに協働するとは？）は、いかがでしたか。



問4 貴社のプレゼンに関心を持った聴講者と一緒に今後協議したいこと、やってみたいこと、事務局・コーディネーターへの要望等があればお願いします。

- ・ご紹介させて頂いた再生材ごみ袋「F U R O S H I K I」を使用して頂き、SDGsの取組を広く周知して頂ければと存じます。
- ・CSR 調達の普及啓発活動を行っています。研修ゲーム等もありますので、体験会などが実施できたらと思います。またGCN J 自体への参加を希望される方がいらっしゃればありがたいです。
- ・関心を持たれた聴講者とのマッチングをしたい。
- ・SDGs バンブープロジェクトが主役になると、押し売りになります。ぜひ、SDGs に取り組む、企業や団体（地方公共団体含む）のサポーター、あるいは、協働先として、本プロジェクトをご利用頂きたいと思ってます。その主旨で、ぜひ、（都会に居ながら里山保全したい）多様な企業、団体とのパイプ役になって頂ければ大変有難く存じます。
- ・SDGs に非常に関心をもっておりますので、特に項目13「気候変動に具体的な対策を」に関して協業できる内容を協議してまいりたいです。もちろんその他の項目でも構いません。子供や学生向けにSDGs を分かりやすく伝えるイベントや交流会を是非企画して頂きたいです。
- ・成長軌道路線作りとして、FSC 認証材や地域材を積極的に取り込み公共施設や商業施設への導入・提案し、SDGs の目標達成を実施すること。業績好調、実力ある企業とのコラボにより、業界へ一石を投じたい。また、企業能力協働化として、意識改革、業務遂行

力、イノベーションや技術の強みを共有することで国内最大限のQCD安定を実施。強固な信頼の確保、安定的顧客の確保につなげたい。

- ・①弊社の事業を導入頂き、人材育成においてSDGsを協働していきたい。②SDGsは、企業や団体等だけが取り組むものではなく、今後、SDGs×キャリア、として個人ひとりひとりにとっての、課題でもあることを普及していきたいと感じていました。まさに、コーディネーターの方のお話に多くの共感をもちました。ありがとうございました。
- ・コロナ禍により縮小しているが、九州エリアで情報発信に関するSDGsの取組の協働を大きく展開して行きたい。
- ・ワークショップ、商品開発など。

問5 ダイアログ全体を通じて、質問や感想などありましたら教えてください。

- ・この度は貴重な機会を頂きありがとうございました。
- ・参加者募集期間をもう少し長めにされると良いと思いました。(すでに予定が入っていた方が参加できませんでした)
- ・このようなイベントに参加させて頂いて大変感謝しております。今後も機会があれば是非参加させていただきたく存じます。宜しくお願い致します。
- ・地方自治体にも積極的に参画できるようなWEB環境と広告を実施してもらいたい。企業任せとならぬよう意識改革をもってSDGsに取り組んでももらいたいと願っています。
- ・SDGs経営推進フォーラムでもあったので、テーマのところに、より具体的に目標17のどこへのアプローチかもわかるように、ロゴの追加があってもいいかと思いました。
- ・参加された方の会社の業種や担当者の方の部署や職種などを知りたいです。

(3) ダイアログ総括

①ニーズ主導ダイアログ（第1回・第2回）

第2回までのダイアログを通じ、事務局による事前ヒアリングを通じてダイアログシートを作成することで、実際に参加した自治体は課題の見える化につなげることができた。また、参加者からの意見では、マッチングプロセスにおいて、新しい企業との出会い、新たな視点の獲得など一定の成果を実感できたという意見を得られた。

一方で、第1回ダイアログでは、よりマッチングの精度を高め、自治体側のニーズや課題解決イメージに合致した提案を受けるためには、自治体が抱える社会・地域課題を可能な限り明確化・具体化しておくことが重要であるとわかった。

そこで第2回では、マッチングの精度を高めるべく、参加自治体の募集用ページや応募用紙において、より具体的な課題提示や打ち合わせプロセスを提示したところ、参加のハードルが上がり、応募自治体が集まりにくかった。

②シーズ主導ダイアログ（第3回）

第3回ダイアログでは、フォーラム会員に対して行った事前アンケートの結果を反映させる形で計画したこともあり、聴講者、発表者ともに参加満足度が90%以上と高くなった。様々な取り組み事例を知りたいという要望にも答えることができた。コロナ禍により縮小せざるを得ないなかで、引き続き、交流の機会を望む声が挙がった。

一方で、予定が合わず参加できなかった声や、自治体からの参加者がなかった要因として、参加者募集期間が短かったことが挙げられるなど、運営方法の改善点も明らかとなった。

2. ダイアログコーディネート事業

九州SDGs ダイアログの実施後には、自治体側と企業側それぞれに対し、継続協議希望のアンケート回答を依頼した。双方が継続協議を希望した場合には、意向に応じてフォローアップを行った。第3回については聴講者に継続協議希望についてアンケートを行った。

双方の担当者連絡先やコメント等を共有し、直接担当者間でやりとりを進めていただくケースや、改めて面談の場を設定するケースなど、意向に応じて柔軟に対応した。なお、面談の実施にあたってはコーディネーターである株式会社Y O U I 原口氏も交え、事前に提案内容等の整理を行った上で面談当日にも立ち会い、円滑な進行や充実した対話の実現に向けてサポートを行った。また、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、オンライン面談により実施した（Microsoft Teams を使用）。

■第1回ダイアログのフォローアップの実施状況

①福岡県飯塚市×A社 「子育て分野」

ダイアログ実施後、双方協議により「保育所の働き方改革コンサルティング業務」の連携を検討中。A社としては、まずは、ひとつの園から試験運用し、成功すれば他の園にも広げていきたい意向。

②福岡県飯塚市×B社 「子育て分野」

ダイアログ実施後、実施主体の手法や、参考事例の情報交換後、現時点では進捗なし。B社としては、引き続き、関わりを持ちたいと考えている。

③大分県日出町×C社 「地域おこし分野」

現地視察・打ち合わせを行った結果、現時点では進捗なし。

■第2回ダイアログの結果とフォローアップの実施状況

①基山町×D社 「高齢者分野」

企業側から、ダイアログの場で確認した基山町のニーズを受け、別の提案をしたいとの意向が示された。そこで、コーディネーターを交えて事前会議（オンライン）を実施し、提案内容の検討をサポートした上で、再度基山町とのダイアログ（オンライン）を実施した。基山町内部では他課も含めて連携可能性を検討中。

②基山町×E社 「高齢者分野（ユニバーサルデザイン）」

両者ともに継続協議の意向が示されたため、各担当者の連絡先を交換し、両者で直接継続協議を実施している。一度両者で打合せを行い、再度打合せを予定。

③基山町×E社 「高齢者分野」

基山町から、来年度以降の事業に関連して後日連絡したいとの意向が示されたため、その旨を伝え、企業担当者の連絡先を基山町に伝えた。話をする場を持ちたい意向。

④基山町×F社 「高齢者分野」

幅広に意見交換等を行いたいとの基山町の意向を伝えた上で、企業担当者の連絡先を基山町に伝えた。

■第3回ダイアログの結果とフォローアップの実施状況

①一般社団法人九州循環共生協議会

聴講者2社から問い合わせがあり、発表者へ情報を共有。

②株式会社中村製材所

聴講者3社から問い合わせがあり、発表者へ情報を共有。

③株式会社オーイーシー

聴講者2社から問い合わせがあり、発表者へ情報を共有。うち1社は3月中にWEB会議を実施。

④Vegan&&bio Marche'（ヴィーガン&ビオマルシェ）

聴講者3社から問い合わせがあり、発表者へ情報を共有。うち1社にはTOFU MEATのサンプルを提供。

⑤ヴァイサラ株式会社

聴講者1社から問い合わせがあり、発表者へ情報を共有。

⑥株式会社サティスファクトリー

聴講者1社から問い合わせがあり、発表者へ情報を共有。3月中にWEB会議を実施。

⑦株式会社杉本商店

聴講者2社から問い合わせがあり、発表者へ情報を共有。うち1社は、メールや電話でのやりとりを経て、今後、事業連携の方向で調整中。

3. 総会及び記念イベント「九州SDGs経営推進フォーラム2020」

(1) 実施概要

九州SDGs経営推進フォーラムの活動報告や今後の活動計画の報告、分科会の活動紹介を行うことおよび、2つの講演を通じて、地域企業がSDGs経営に取り組む意義や、九州の地域・社会課題解決に向けた地域企業（中小企業）の活躍可能性や期待を共有し、自分事としてSDGsを推進していく方法について会員とともに考える事を目的として、「九州SDGs経営推進フォーラム2020 総会・シンポジウム」を実施した。

なお、当初は新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応のため、会場及びオンラインライブ配信でのハイブリット開催を予定していたが、オンラインライブ配信のみで実施した。実施概要等は以下の通りである。

- 【日 時】 2020年11月16日（月）13時30分～16時30分
- 【会 場】 Microsoft Teams によるWEB限定のライブ配信
- 【主 催】 九州SDGs経営推進フォーラム、九州経済産業局
- 【出席者数】 233名（登録者数） ※最大同時視聴数171名
- 【プログラム】

<総会>

- ・ 13時30分～13時55分
開会挨拶 九州経済産業局長 米田 健三
会長挨拶 井上 滋樹（九州大学大学院芸術工学研究院教授／
SDGsデザインユニット長）
フォーラムの活動紹介 九州SDGs経営推進フォーラム事務局

<シンポジウム>

- ・ 13時55分～15時05分 基調講演：地域企業・中小企業がSDGsに取り組む意義
講師：田瀬 和夫 氏 / SDGパートナーズ有限会社 代表取締役
- ・ 15時10分～15時55分 特別講演：中小企業のSDGs推進方法
講師：新居 大介 氏 / arm2.5 代表
- ・ 16時00分～16時25分 SDGsクロストーク（トークセッション）・質疑応答
登壇者：田瀬 和夫 氏、新居 大介 氏

(2) 結果

九州経済産業局ホームページ、九州SDGs経営推進フォーラム会員向けメールマガジン、九州経済調査協会ホームページ、九州経済調査協会メールマガジンにて告知し募集した結果、233名からの登録があった。

オンラインライブ配信での開催でも登壇者と参加者の双方向での意思疎通や臨場感のあるクロストークができるよう、当日はリアルタイムでチャットでの質問受付を行った。チャットに寄せられた質問のうち時間の都合で回答できなかったものについても、後日回答し参加者へ共有したことで、ハイブリッド開催と遜色なく事業を実施できた。

シンポジウム参加者には、WEB アンケート回答を依頼した。233件（登録者数）に対し、回答数は86件（回答率：36.9%）となった。

アンケートでのセミナーに対する全体評価では、「非常に参考になった」44.2%、「参考になった」52.3%と、合わせると96.5%と高い評価となった。

基調講演「地域企業・中小企業がSDGsに取り組む意義」（講師：田瀬 和夫 氏）に関しては「非常に参考になった」65.1%、「参考になった」33.7%、合わせると98.8%と、高い評価を得た。

特別講演「中小企業のSDGs推進方法」（講師：新居 大介 氏）に関しても「非常に参考になった」45.3%、「参考になった」46.5%、合わせると91.8%と、こちらも高い評価を得た。

SDGsクロストークに関しては「非常に参考になった」27.9%、「参考になった」48.8%、合わせると76.7%と、概ね高い評価を得た。

■ 質疑（一部）

- Q. 中小企業のもので。取引先からの要請で、SDGsに配慮することになったのですが、経営者から丸投げされて、暗中模索状態です。SDGsを業務に組み込むには、仕事のやり方を大幅に変えざるを得ず…。マネジメントの問題の気もしています。SDGs推進はどういう体制ですめるべきなのでしょう。
- Q. 社員20名程度の中小企業では、社内にSDGsを推進できる人材はおらず、また外部コンサルタントに依頼する費用も捻出できませんが、どのように推進すればよいでしょうか。

■ WEB アンケート・自由回答（一部）

- ・ 誰もが漠然と感じているであろうSDGsに取り組む意義について、視野を大きく広げてくれた内容で、ようやくスタートラインに立てた気がします。企業の役員や担当者、行政など、どの立場においても参考になる、有意義なシンポジウムをありがとうございました。
- ・ これから社内外に向けて、SDGs実現に向けて、具体的に取り組んでいきます。本日の講師のお二人の講演をお聞きして勉強になりました。

- ・ この度の総会・シンポジウムで画面に投影して頂いた資料を電子ファイル(PDF)でご提供いただければ幸いです。社内への啓蒙資料として利用させていただきたいです。
- ・ 事前に、資料またはレジュメ等を配信いただけないか。拘束時間が長くなるので、所要時間をコンパクトに回数を増やすことはできないでしょうか。情報収集段階としては、一方方向の配信でも有難い。

■ 当日の様子

会長挨拶（井上会長）



基調講演（田瀬氏）



特別講演（新居氏）



クロストーク（事務局、新居氏、田瀬氏）



(3) 参考資料

フォーラム案内チラシ（表面）

九州SDGs経営推進フォーラム2020

総会・シンポジウム

主催：九州SDGs経営推進フォーラム、九州経済産業局

参加費無料
 11月13日（金）12時
 申込〆切

本総会・シンポジウムでは、九州SDGs経営推進フォーラムの活動報告や今後の活動計画の報告、分科会の活動紹介とともに、講演を通じて、地域企業がSDGs経営に取り組む意義や、九州の地域・社会課題解決に向けた地域企業（中小企業）の活躍可能性や期待を共有し、自分事としてSDGsを推進していく方法について、会員の皆様と一緒に考えていく場として開催いたします。お申し込みお待ちしております。

11/16 月

13:30～16:30

Microsoft Teamsライブ配信

※講師プロフィールにつきましては、別紙をご確認ください

プログラム	
総 会	
13:30～13:55	開会挨拶 九州経済産業局長 米田 健三 会長挨拶 井上 滋樹（九州大学大学院芸術工学研究院教授／SDGsデザインユニット長） フォーラムの活動紹介 九州SDGs経営推進フォーラム事務局
シンポジウム	
13:55～15:05	基調講演 「地域企業・中小企業がSDGsに取り組む意義」 講 師：田瀬 和夫 氏 SDGパートナーズ（有）代表取締役 九州SDGs経営推進フォーラム アドバイザー
休 憩	
15:10～15:55	特別講演 「中小企業のSDGs推進方法」 講 師：新居 大介 氏 arm2.5 代表
休 憩	
16:00～16:25	SDGsクロストーク（トークセッション）・質疑応答 登壇者：田瀬 氏、新居 氏
16:25～	閉会

申込方法 ※事前のお申し込みが必要です。11月13日（金）12時〆切。

参加申込フォームより、お申し込みください。

■参加申込 <https://questant.jp/q/kyushuSDGsforum2020>

※会員でない方は、お申し込み後に会員登録をお願いいたします

■会員登録 <http://unx.space/wfyx>

参加申込

【注意事項・個人情報利用】

- ネット配信サービスMicrosoft Teamsにてライブ配信いたします。詳細はお申し込みいただいた方にメールにてご案内いたします。
- 視聴にかかる通信費等は視聴者の方の負担となります。
- 当日のアクセスは参加者の責任において行ってください。視聴環境により、ご覧いただけない場合や映像・音声が見れる場合があります。
- 参加にかかるURL・パスワードは申込参加者限りです。第三者への転送・譲渡はできません。
- 本セミナーの録画・録音、第三者への提供は固く禁じます。
- いただいた個人情報は、本事業運営以外目的には使用いたしません。
- 状況により、中止となる可能性があることをご承知願います。

問い合わせ先：（公財）九州経済調査協会 調査研究部 担当：原口、平松、池松、大谷（事業受託先）
 TEL：092-721-4905 MAIL：reception@kyushu-eisaku.or.jp

九州SDGs経営推進フォーラム2020 シンポジウム 講師プロフィール

基調講演



田瀬 和夫 氏 SDGパートナーズ有限会社
代表取締役CEO
九州SDGs経営推進フォーラム アドバイザー

1967年福岡市生まれ。東京大学工学部卒、ニューヨーク大学法学院客員研究員。

1992年外務省に入省。国連政策課、人権難民課、アフリカ二課、国連行政課、国連日本政府代表部一等書記官等を歴任。2001年より2年間は、緒方貞子氏の補佐官として「人間の安全保障委員会」事務局勤務。

2005年11月外務省を退職、2005年11月より国際連合事務局・人間の安全保障ユニット課長、国連広報センター長を歴任。2014年6月よりデロイト・トーマツコンサルティングの執行役員に就任。同社CSR・SDGs推進室長として日本経済と国際機関・国際社会の「共創」をテーマに、企業の世界進出を支援、人権デュー・デリジェンス、SDGsとESG投資をはじめとするグローバル基準の標準化、企業のサステナビリティ強化支援を手がけた。

2017年9月にSDGパートナーズ有限会社を設立し、現在同社代表取締役CEO。私生活においては、7,500人以上のメンバーを擁する「国連フォーラム」の共同代表を2004年より務める。

特別講演



新居 大介 氏 arm2.5 代表

1971年フランス生まれ。早稲田大学卒業。

JETRO（日本貿易振興機構）にて20年以上、一貫して中小企業の海外展開支援を実施。2度のバングラデシュ（JETROダッカ所長）駐在、ダッカ日本商工会事務局長、日本・バングラデシュ商工会議所会頭を歴任し、政府間交渉である「官民経済対話」を主導。

2017年、地元の湘南・鵠沼（クゲヌマ）にパン屋「チコパン×クゲヌマ」を設立。干しブドウからの自家製酵母と徹底した素材にこだわったパンで地元で人気店に。

2019年JETRO退職、arm2.5設立。

「経営者の片腕のように考え、ロボットアームのように動く」ことをモットーに、中小企業の海外展開を支援、経営課題解決、人材育成支援を目指す。

脱サラと同時に週5日のフルタイム主夫に。掃除、洗濯、家事、買い物などほぼすべてをこなす、「一人働き方改革」実践中。その他、小学校～高校、高専、大学などでの講演・セミナー多数、TVコメンター出演。

■ 参加者アンケート

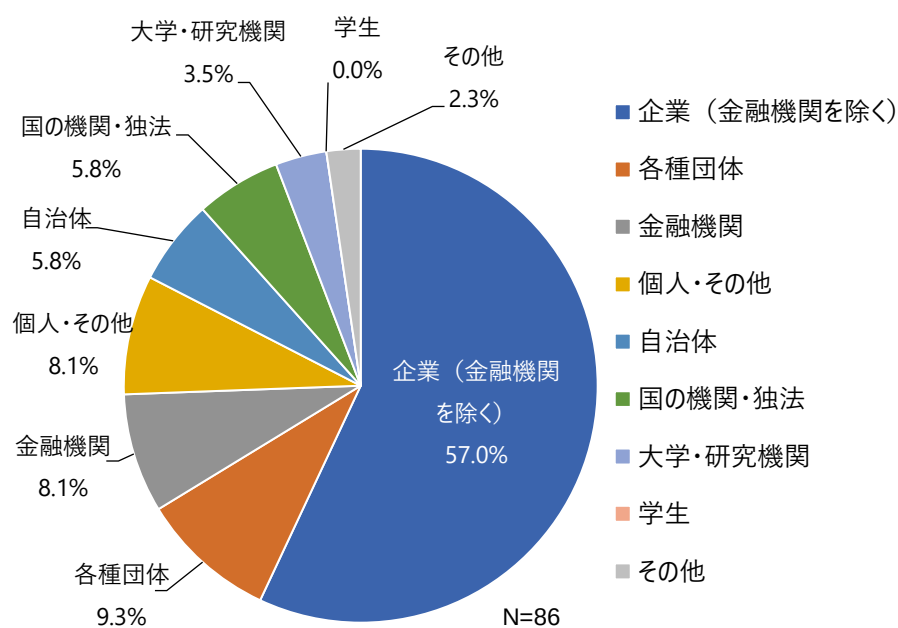
シンポジウムの最後に以下のアンケート協力依頼を提示し、終了後に参加者に対してメールにて再度依頼、WEBからの回答を受付つけた。参加者のSDGsに対する意識や取組の状況のほか、本イベントの満足度等について聴取した。

【参加申込者数】 233 件(メール送信数)

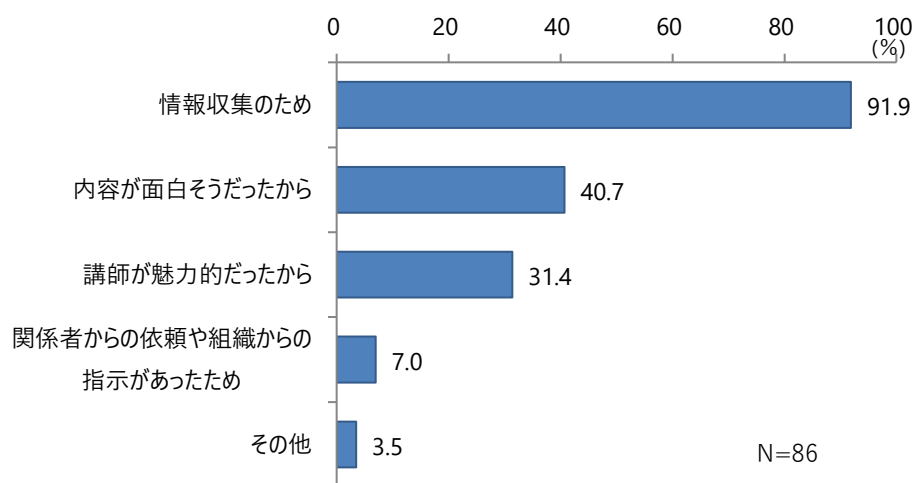
【回答数】 86 件(回答率:36.9%)

■ アンケート集計結果

問1 ご所属についてお聞きします(1つだけ選択)



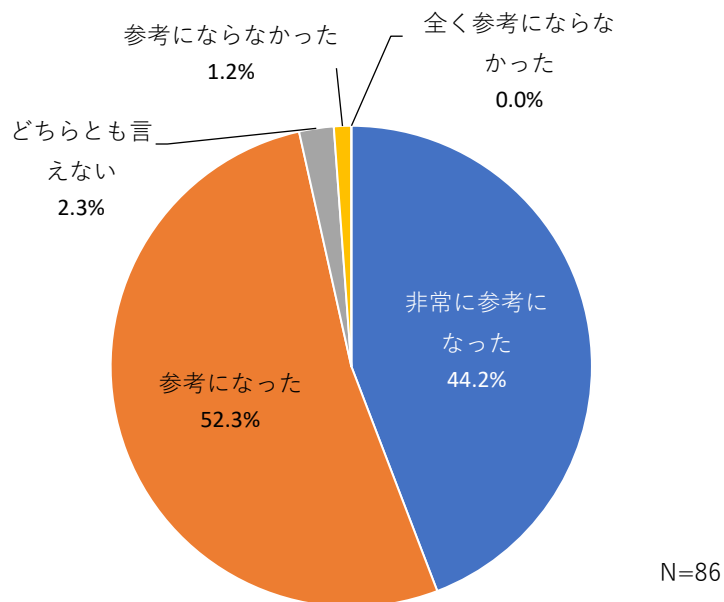
問2 本日の参加目的はどれに当てはまりますか（該当するものすべて選択）



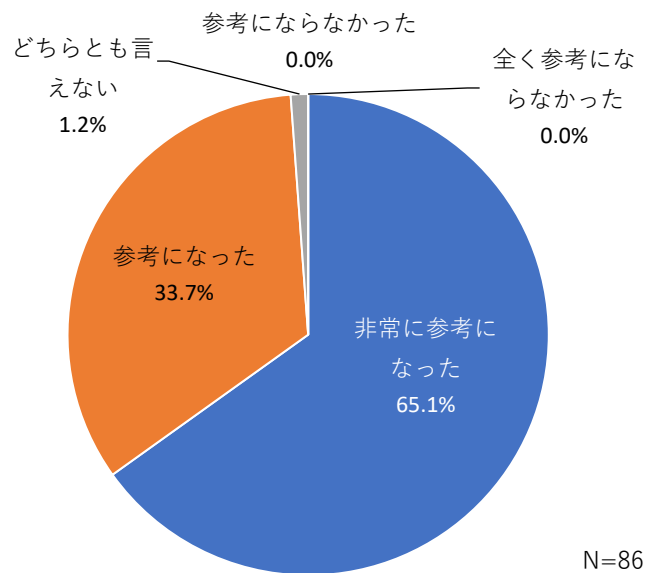
【その他の回答内容】

- ・自治体の総合計画に生かすため。
- ・SDGsに取り組むため
- ・設立から1年、どう進展されたのか知りたかった。

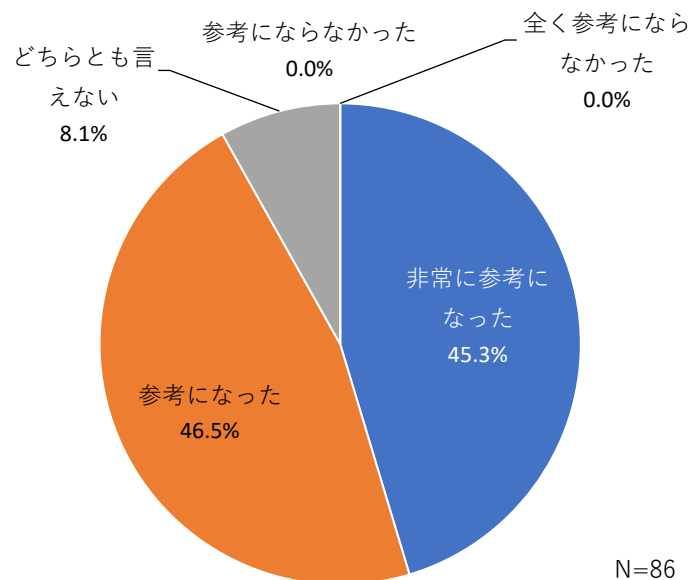
問3 本日の総会は全体的にいかがでしたか（1つだけ選択）



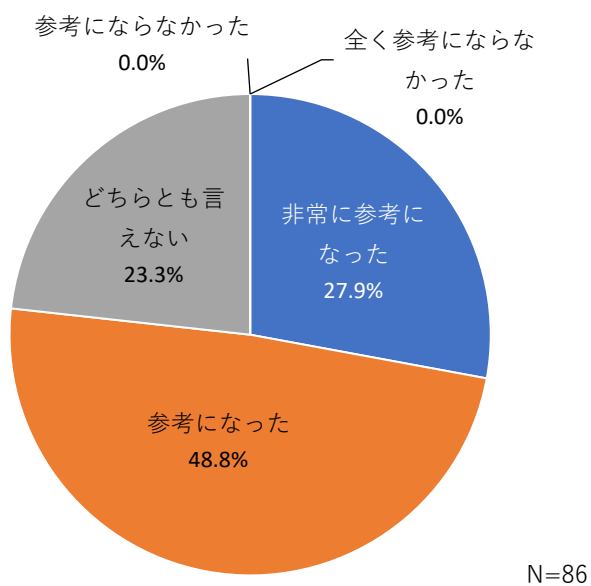
問 4 基調講演「地域企業・中小企業がSDGsに取り組む意義」（講師：田瀬 和夫 氏）
は、いかがでしたか（1つだけ選択）



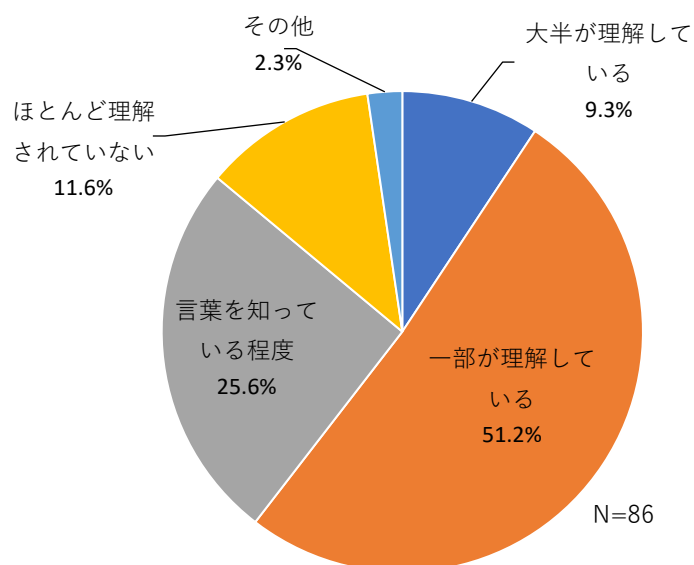
問 5 特別講演「中小企業のSDGs推進方法」（講師：新居 大介 氏）はいかがでしたか
（1つだけ選択）



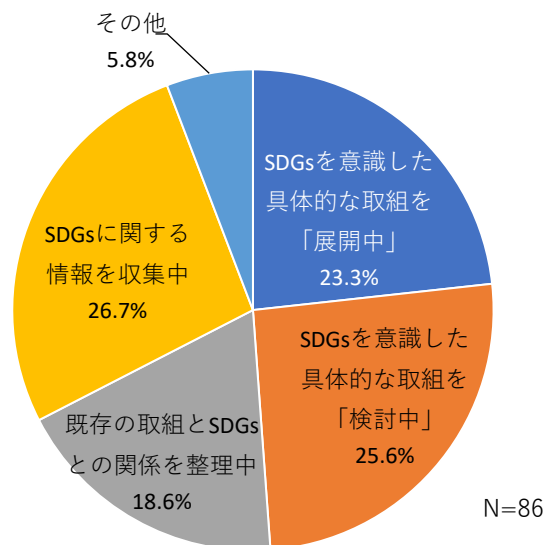
問6 SDGs クロストークはいかがでしたか（1つだけ選択）



問7 あなたの組織におけるSDGsに対する認知度はいかがですか（1つだけ選択）



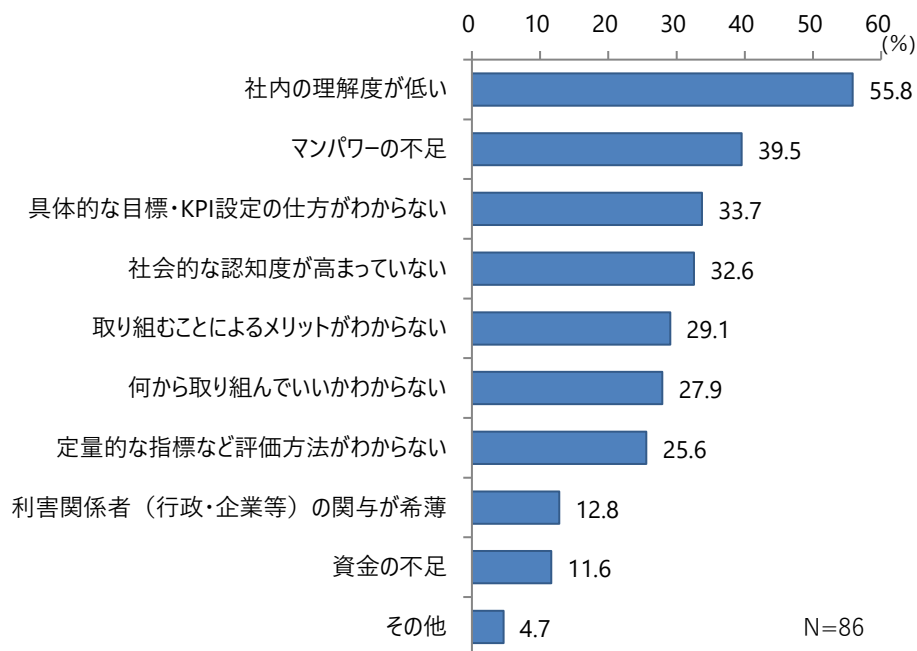
問8 あなたの組織におけるSDGs経営に対する取組はどの段階ですか（1つだけ選択）



【その他の回答内容】

- ・SDGsに関するセミナーを2回開催。
- ・組織としてはまだ未着手の段階です。

問9 SDGsに取り組むに当たっての課題は何ですか。（当てはまるものすべてを選択）



【その他の回答内容】

- ・課題が明確になるほど取組めてない
- ・特に感じていない

問 10 あなたの組織におけるSDGs経営の取組内容や本日のセミナーの感想、九州SDGs経営推進フォーラムへの要望等、自由にご記入ください。

【自社の取組等について】

- ・ SDGs支援機構の中村洋介さんを講師に2回セミナーを開催。市民、行政関係者、介護や農業従事者、管理栄養士など比較的若い世代で勉強しています。
- ・ 組織におけるSDGsへの取組は一部、計画に記載する程度で、あまり進んでいないのですが、高齢者化社会の進展及びコロナ後の社会に向けて、今後ますますこの考え方は重要であると考えています。そのため本日の講演はとても理解しやすく参考になりました。企画立案等の中で活用できればと思います。本日は貴重な機会をいただきありがとうございました。
- ・ 製造業として、印染業を営んでいます。作業の中で湧水という地域資源を利用させてもらっていますが、これからの未来にもこの湧水の恵みを残して行きたいと思わせてもらっている企業として思っていますが、具体的な取組にまでは至っていません。新居氏の仰っていたようにゴールと目標を改めて読み解き、すでにSDGs取り組んでいると言えるような部分、これから取り組めるとする部分を洗い出したいと思います。そのようなきっかけを本日は頂いたと思っています。ありがとうございました。
- ・ 経営トップとSDGs取組の意義について意見交換した段階。
- ・ E A21 認証登録事業者へのSDGs経営の普及と実践、福岡県地球温暖化防止活動推進員へのSDGsの周知と実践をおこなっており、今後も参加したいと思います。
- ・ 正確に捉えているかは疑問だが、進んでいるのは首都圏のみと感じる。九州が進んでいるとは全く思えない。今回の講演では企業経営のニュースタンダードになるということであるが、井の中の蛙大海を知らずなのか、自分の周りに行動してもピエロになってしまう。
- ・ 現状は、SDGsに沿って何か新しい取組をやり始めたわけではなく、当社でやっている取組でSDGsに当てはまるものを抽出し、通達等で社員に周知を図ったレベル。現在進行形としてはカンボジア・ミャンマーの孤児院等を支援するため、両国のプロダクツを弊社を中心としたプロジェクト団体で国内販売する事業を開始した。
- ・ SDGsの推進要素として、GAF Aが行っている無形価値の研究が基礎に必要かと考えています。多くの要素を取り入れる広がりも欠かせないと考えます。
- ・ E A21 と統合を考えている。参考になる情報と社内「何のため取り組むのか」浸透させる資料があればなお助かります。

【講演内容について】

- ・ これから社内外に向けて、SDGs実現に向けて、具体的に取組んでいきます。本日の講師のお二人の講演をお聞きして勉強になりました。

- ・ 非常に勉強になりました。今回のセミナーが初めてのSDGsに対する取り組みでしたので、今後もっと勉強し、内容をしっかり把握したうえで、企業としてどう取り組むかを検討したいと思います。
- ・ これから自社のこととして考える上で大変参考になりました。ありがとうございました。引き続きよろしくお願い申し上げます。
- ・ SDGsと経営との関係がとてもよくわかり勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ 誰もが漠然と感じているであろうSDGsに取り組む意義について、視野を大きく広げてくれた内容で、ようやくスタートラインに立てた気がします。企業の役員や担当者、行政など、どの立場においても参考になる、有意義なシンポジウムをありがとうございました。
- ・ 今回の田瀬様のバックカスティングのお話は大変参考になりました。合わせて積み上げる計画もきちんと実施したいと思います。
- ・ 最近までSDGsと言えば大手企業が取り組む規模の取組という認識であり、中小企業ができることは無いと思っていた為、具体的な取組方や推進方法については手探りの状態でした。本日のセミナーにより具体的に進め方が分かり大変有意義な時間となりました。今後は他社の取組事例（目標から社内広報まで）を聞いてみたくなります。本日はありがとうございました。
- ・ コアコンピタンスが企業の強みとのお話、優位性を出せていない現状を弊社に置き換え大変勉強になりました。また攻めのSDGs守りのSDGsについても同様でした。具体的お話しの中、バングラデシュのマザーズデーの例えは良く理解できました。SDGs未来都市、宗像市、福津市、もっとパブリッシュし良いところなので機会を今と捉えジャンプして欲しいと考えます。何かお役に立てれば協力したいと思います。講演者、スタッフの皆様、本講演会シンポジウムの機会を感謝申し上げます。
- ・ 定量的な指標を必ずしも設定する必要はなく、誠実な会社経営がSDGsにつながるというお話が参考になりました。田瀬氏のムーンショットの具体例紹介には感涙しました。
- ・ 有意義なシンポジウムありがとうございました。実際にSDGsのストーリー等が理解でき、これから推進していくモチベーションが高まりました。
- ・ 「経営をしていると自ずとSDGsに取り組んでいることになる」という言葉に最も共感しました。
- ・ SDGsの根本哲学を知ることができてよかった。根本を知らずにうわべだけ取り組んでも成果が出ないと思うので、今回のものは適切だったと思います。
- ・ 講師が良かった。今シーズンのシンポジウムでは一番腹落ちした。
- ・ お二人のご講演が大変参考になりました。何から手を付けたらよいのか、どう進めたらよいのかわからないという課題を解決するきっかけにしたいと思います。

- ・ 演算的視点のイノベーションのところが印象に残りました。
- ・ 非常に興味深いお話が聞けて参考になりました。

【セミナー展開・運営方法について】

- ・ 九州においては、経済産業省と環境省、農林水産省が協働されることをお願いしたい。特に理想的な「地域循環共生圏」を実現するためには、3省の連携・ご支援が必要と考えますし、SDGs 17番目のターゲットを実践することになると考えています。我が国における地域モデルを目指していただきたい。(環境カウンセラーからの要望)
- ・ 自社だけではなかなか推進力が弱いので、様々なステークホルダーとの連携により、外圧を高めて推進のきっかけを作れればと思っています。ぜひ国や自治体でも公共調達への反映を進めていただけるとありがたいです。個人的には、国連グローバルコンパクトのサプライチェーン分科会で普及啓発を担当しています。ぜひ連携の機会を頂きたいです。
- ・ この度の総会・シンポジウムで画面に投影して頂いた資料を電子ファイル(PDF)でご提供いただければ幸いです。社内への啓蒙資料として利用させていただきたいです。
- ・ 事前に、資料またはレジュメ等を配信いただけないか。拘束時間が長くなるので、所要時間をコンパクトに回数を増やすことはできないでしょうか。情報収集段階としては、一方向の配信でも有難い。
- ・ 今日の講演のレジュメ等のサマリーを頂ければ幸いです。
- ・ 講演者の資料をダウンロードできるようにして頂ければ助かります。
- ・ 後日でかまわないので、田瀬さん、新居さんの講演資料の共有をお願いします。
- ・ 都合で本日のフォーラム参加時刻に20分遅れ、「総会」のお二人の話を聞けませんでした。出来ましたら記事としてでもいただけないか？
- ・ 本日のレコーディングビデオや資料の公開をぜひお願いしたい。
- ・ 当日の講演資料の送付を希望します。
- ・ 講演資料の配布をお願いします。
- ・ 大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・ 今回の講演は業務の都合上、断片的にしか聴くことが出来ませんでしたが、その少ない視聴時間の中だけでも、有意義な示唆が多くあり、大変勉強になりました。もし可能であれば、講演のスライドを公開して頂けると有難いです。
- ・ フォーラム講演内容資料を参考にしたいが、資料入手は可能なのでしょうか？
- ・ 当日は別件が入り、途中で退出させていただきました。引き続き有用な情報を期待いたします。よろしくお願いいたします。

4. 運営委員会

(1) 実施概要

フォーラム事業の活動計画等について検討し円滑な実施を図るため、フォーラムに運営委員会を設置し、本事業では10月、2月の2回開催した。委員一覧は以下の通りである。

九州SDGs経営推進フォーラム運営委員会 委員名簿（敬称略）

区分	所属・役職	氏名
委員長	九州経済産業局 総務企画部長	田久保 憲彦
委員	一般社団法人九州経済連合会 企画調査部長	箴島 修三
委員	公益財団法人九州経済調査協会 調査研究部長	片山 礼二郎
委員	独立行政法人国際協力機構九州センター 市民参加協力課 専任参事	上島 篤志
委員	独立行政法人中小企業基盤整備機構 九州本部長	橋本 大哉
委員	一般社団法人SINKa 代表理事	濱砂 清
委員	株式会社日本政策金融公庫 中小企業事業本部 九州地区統轄	古園 伸一郎

各回の議題及び主な意見、議事の詳細は以下の通りである。

(2) 第2回運営委員会

① 開催概要

日時：2020年10月21日（水）15:00～17:00

会場：九州経済調査協会 会議室

次第：1. 開会挨拶

2. 運営委員会等メンバー紹介

3. 議題

(1) 分科会について

(2) 2020年度事業の進捗状況（報告）

(3) 総会及び記念イベント「九州SDGs経営推進フォーラム2020」について

(4) その他（意見交換）

4. 閉会

出席委員：7名

オブザーバー：1名 原口 唯 九州SDGs経営推進フォーラムコーディネーター
(株式会社YOU I 代表取締役)

② 第2回運営委員会（2020年10月21日）の主な意見

- ・ 分科会については、SDGsの活動や考え方について、様々な方向性があったり、活動する主体も試行錯誤であったりするので、大きな方向としてはウォッチしながら、皆で考えて行くような形が良い。
- ・ 分科会について、最初のうちは活動していくうちに動機付けや思いが強くなり、社会課題を解決しようと、SDGsを意識して活動していくようになることを期待したいし、我々もそういった店を意識してグリップしていかなければならない。きちんと意識付けや動機付けが明確になされているのか、醸成されていっているかどうかというところをウォッチしていかなければならない。
- ・ 分科会の活動そのものを継続するためには人を巻き込むことが必要である。また、本質的な課題の解決を目指す活動でなければ継続はできず、最終的には本当の活動が残っていく。そのため、現段階では取組を広く見て良い。
- ・ ビジネスマッチングの開催が対面式であると、どうしても福岡を中心に動いていくが、オンラインであれば遠隔地から企業を呼び込めるので、そこを強化したほうが良い。

(3) 第3回運営委員会

① 開催概要

日時：2021年3月3日（水） 10時～12時

会場：Microsoft Teams によるオンライン開催

次第：1. 開会挨拶

2. 議題

- (1) 2020年度 事業の進捗状況（報告）
- (2) 2021年度事業について
- (3) その他（意見交換）

3. 閉会

出席委員：6名（欠席 1名：箴島 修三 一般社団法人九州経済連合会 企画調査部長）

オブザーバー： 原口 唯 九州SDGs経営推進フォーラムコーディネーター
(株式会社YOU I 代表取締役)

② 第3回運営委員会（2021年3月3日）の主な意見

- ・ 2025年までにSDGs実装企業を250社生み出すという目標は妥当である。ただし、SDGsを実装する企業の定義や、モニタリングの方法を確認しなければならない。
- ・ SDGsという観点からまだ認識をして捉えていないだけで、潜在的に既に事業活動に取り組んでいる事業者がかなりあるのではないかと。新たにこれからSDGsに取り組むという視点も必要であるが、今の事業活動をもう一度見直すと既にSDGsに取り組んでおり、それをうまくPRに繋げていくという視点もあってよい。

- ・ 2021 年度事業について、企業の様々な取組について、改めてSDG s の課題に対して逆にフォーカスを当てて、そこから更にブラッシュアップしていくという方向もある。中小企業に対して、SDG s という問題意識を改めて持たせることが、新しい問題解決や成長のヒントを与えるということになる。

5. オンラインセミナー

九州の地域企業や自治体等のフォーラム会員がSDG s 経営について学び、理解を深めるための「SDG s 経営・オンラインセミナー」(計3回)を実施した。第1回はSDG s 初心者、第2回はSDG s 社内担当者、第3回は経営者を主な対象として実施し、各レベルにおけるSDG s の理解促進を図った。

(1) 実施概要

第1回はSDG s の概要・背景、取り組む意義など(SDG s 初心者向け)、第2回は取組事例、支援策等(SDG s 社内担当者向け)で実施し、第3回はSDG s を経営にいかしていくための内容(経営者向け)で実施した。実施概要等は以下の通りである。

【日 時】 第1回 2020年9月30日(水) 15時00分～16時30分
第2回 2020年10月7日(水) 15時00分～16時30分
第3回 2021年1月22日(金) 15時00分～16時30分

【会 場】 Microsoft Teams によるWEB限定のセミナー

【主 催】 九州SDG s 経営推進フォーラム、九州経済産業局

【出席者数】 第1回 100名 (関係者含む)
第2回 101名 (関係者含む)
第3回 142名 (関係者含む)

【プログラム】

■第1回

- ・対象者 SDG s 初心者向け
- ・テーマ 「SDG s × 企業・入門編～世界の潮流を経営に活かすには～」
- ・講師 岩永 真一 氏（福岡テンジン大学 学長）
- ・タイムスケジュール
- 15:00 開会
 「九州SDG s 経営推進フォーラム」の概要
 （経済産業省 九州経済産業局 総務企画部 企画調査課長 池部 素子）
- 15:15 講演「SDG s × 企業・入門編～世界の潮流を経営に活かすには～」
- 16:15 質疑応答
- 16:30 閉会

■第2回

- ・対象者 SDG s 社内担当者向け
- ・テーマ 「企業経営・事業展開の応援旗としてのSDG s」
- ・講師 原口 唯 氏（株式会社YOU I 代表取締役）
- ・タイムスケジュール
- 15:00 開会
 「九州SDG s 経営推進フォーラム」の概要
 （経済産業省 九州経済産業局 総務企画部 企画調査課長 池部 素子）
- 15:15 講演「企業経営・事業展開の応援旗としてのSDG s」
- 16:15 質疑応答
- 16:30 閉会

■第3回

- ・対象者 主に経営者向け
- ・テーマ 「SDG s にどう取り組むか～企業事例を参考に～」
- ・講師 眞鍋 和博氏
 （公立大学法人北九州市立大学教授/サステナブル北九州代表）
- ・タイムスケジュール
- 15:00 開会
- 15:05 講演「SDG s にどう取り組むか～企業事例を参考に～」
- 16:15 質疑応答
- 16:30 閉会

(2) 結果

①第1回

実施一週間前の告知にかかわらず、100名を超える申込があった(119件)。

本セミナーの申込に合わせて九州SDGs経営推進フォーラムの会員申込を促した結果、新規フォーラム会員の申込手続きでセミナー申込を完了したと認識した会員が一定数いたため、当日、会員全員に視聴用URLを提供し、その結果、100名を超える参加者(関係者含む)となった。

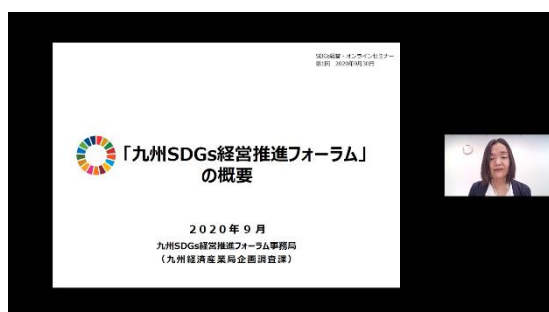
講演については、参加者にコメント記入を促す対話型で進められた結果、質問が多数寄せられた。質疑応答の時間内に対応ができなかったものについては、後日講師より回答を得て、参加者にメールにて送付した。

参加者には終了後に、メールによるWEBアンケートを依頼した。119件(登録者数)に対し、回答数は49件(回答率:41.2%)となった。

アンケートでのセミナーに対する全体評価では、「非常に参考になった」51.0%、「参考になった」44.9%と、合わせると95.9%と高い評価となった。講演に関しては「非常に参考になった」49.0%、「参考になった」44.9%、合わせると93.9%とこちらも高い評価を得た。

■ 当日の様子

施策紹介(事務局)



講演(岩永氏)



■ 質疑(一部)

Q. 学生向けに講義を行っているとのことがあったが、すでに多くの就活学生はSDGsや社会貢献活動を基準に、企業を選んでいるのか。

Q. 消費者がSDGs視点で購入を考えるためにはテレビなどのメディアの他どんな学習事例があるか。

■ WEBアンケート・自由回答(一部)

- ・ 話の内容、流れともに非常にわかりやすかったです。
- ・ 今回のようなセミナーがもっと浸透することによって、一般の方も含めてSDGsが他人事ではなくなると思います。
- ・ セミナーに参加された方々との交流が出来れば。

②第2回

第1回セミナー時にアナウンスしたこともあり、申込数は169件となった。第1回同様、参加者にコメント記入を促す対話型で進められた結果、質問が多数寄せられ、質疑応答の時間内にすべて対応ができなかった。

参加者には終了後に、メールによる WEB アンケートを依頼した。169 件（登録者数）に対し、回答数は 55 件（回答率：32.5%）となった。

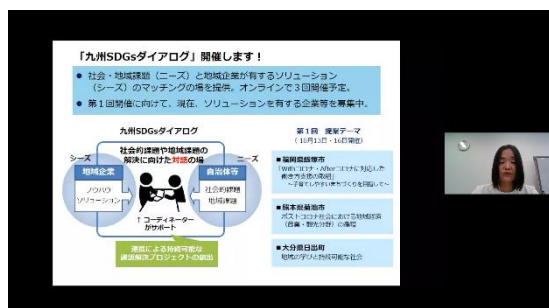
参加者の参加の動機は、情報収集が 89.1%で、参加者の組織におけるSDGsの認知度は「一部が理解している」が 45.5%であった。組織のSDGsの取組段階は「SDGsを意識した取組を展開中」が 25.5%、既存の取組とSDGsとの関係を整理中が 25.5%、取組検討中が 23.6%、情報収集中が 21.8%と、SDGsに対する理解が組織内で十分に浸透しないまま取組を進めている実態が推測される。

セミナーに対する全体評価では、「非常に参考になった」34.5%、「参考になった」56.4%と、合わせると90.9%と高い評価となった。

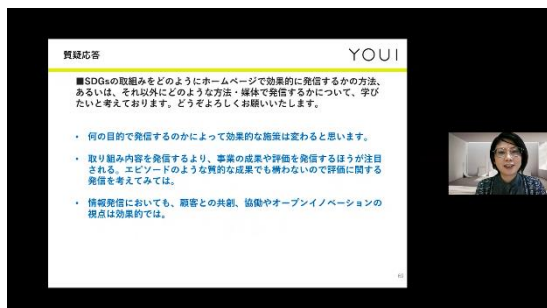
講演に関しては「非常に参考になった」32.7%、「参考になった」52.7%、合わせると 85.5%と、こちらも高い評価を得た。

■ 当日の様子

施策紹介（事務局）



講演（原口氏）



■ 質疑（一部）

Q. 中小企業にはSDGsコンパスは難しすぎる。もっとかみ砕いたものはないか。

Q. 社内で何点か課題を抜き出したが、とりあえずスモールスタートをしたい場合、優先度は何を基準に決めたらよいか。

Q. 経済合理的な指標のK P Iが設定されがちな中、そのSDG s活動の社会的インパクトで価値や貢献、ビジョンを可視化して地球市民で共有できるような仕組みがあるとい

■ WEB アンケート・自由回答(一部)

- ・ 企業がSDGsに取り組む意義ではなく、取組方法やプロジェクトの進め方が知りたい。
- ・ 次回は講演のテーマを絞り、具体的な話や具体例を聞けると助かります。

③第3回

開催当日までに、202名の申し込みがあった。参加者の属性については、想定していた経営者層だけでなく、部長・課長などの管理職層も多くみられた。

参加者には終了後に、WEB アンケートへの回答をメールにて依頼した。202件（登録者数）に対し、回答数は84件（回答率：41.6%）となった。

アンケートでのセミナーに対する全体評価では、「非常に参考になった」42.9%、「参考になった」53.6%を合わせると、96.5%と高い評価となった。

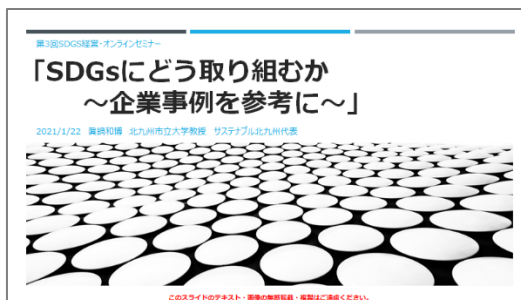
講演に関しては「非常に参考になった」45.2%、「参考になった」47.6%を合わせると92.8%と、こちらも高い評価となった。

■ 当日の様子

講演（眞鍋氏）



講演資料



■ 質疑（一部）

- Q. マーケティング施策にSDGs的な視点を盛り込むとき、これはマーケティングの部署のみで取り組むべきでしょうか。それとも、横断的な部署を作って、社としてのコミットを図ったほうがいいのでしょうか。
- Q. 大手企業では、自分事化を組織的に進めるために部門目標や人事評価制度に反映される場所も増えてきていますが、中小企業においてはどのような形で進めるのが良いでしょうか？やっぱりトップダウンでしょうか？

■ WEB アンケート・自由回答（一部）

- ・ 事例紹介だけでなく、社内推進の方法についても順序だてて説明していただいたことで、自らが今どの段階なのかを改めて整理することができ、とても参考になった。
- ・ 自社のSDGsに関する取組を推進するにあたり大変参考になりました。今後のセミナーにも期待いたします。ありがとうございます。
- ・ オンラインによる開催で、安心して学べる。

(3) 参考資料

セミナー案内（第1回・第2回）チラシ

九州SDGs経営推進フォーラム

SDGs経営・オンラインセミナー

主催：九州SDGs経営推進フォーラム、九州経済産業局

参加費無料
定員・各回100名

「九州SDGs経営推進フォーラム」では、会員の皆様がSDGs経営について学び、理解を深めるための「SDGs経営・オンラインセミナー」（全3回）を開催いたします。ご関心のある回のみ参加も可能です。お申し込みお待ちしております。

九州SDGs経営推進フォーラムは、地域企業がSDGsを本業へ埋め込み、経営戦略に実装するとともに、地域企業のノウハウやソリューションを活用して、社会的課題や地域課題を横断的に束ねて解決するモデル事業等を支援することを目的として2020年2月に設立した産学官金のプラットフォームです。

<https://www.kyushu.meti.go.jp/seisaku/kyosoryoku/sdgs.html>

申込方法

※事前のお申し込みが必要です。

【会員の方】	「参加申込」フォームより、お申し込みください。 ■参加申込 https://questant.jp/q/kyushuSDGswbinar20
【会員でない方】	フォーラム会員へお申込みの上、上記の「参加申込」フォームよりお申し込みください。 ■会員申込 http://urx.space/wfyy


参加申込

会員申込

プログラム

※講師プロフィールにつきましては、別紙をご確認ください

第1回 9/30 (水) 15:00～16:30	■対象者：SDGs初心者向け SDGsの概要・背景、取り組み意義等について初めての方にも分かりやすく説明します。 「SDGs×企業・入門編～世界の潮流を経営に活かすには～」 講師 岩永 真一 氏（福岡テンジク大学 学長）
第2回 10/7 (水) 15:00～16:30	■対象者：SDGs社内担当者向け 社内でもどのようにSDGsの理解や浸透を図りながら、社外にも発信をしていくか。SDGsの担当者向けに、取組の進め方や事例についてご紹介します。 「企業経営・事業展開の応援旗としてのSDGs」 講師 原口 唯 氏（株式会社YOUI 代表取締役）
第3回 1月 (予定)	■対象者：主に経営者向け（SDGsを経営に活かしていくために） 講師・テーマ：調整中 ※詳細は12月中旬に九州経済産業局HP・フォーラム会員メルマガ等にてご案内いたします。

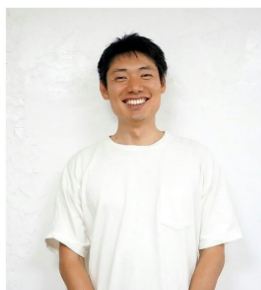
【注意事項・個人情報利用】

- ネット配信サービスMicrosoft Teamsにてライブ配信いたします。詳細はお申し込みいただいた方にメールにてご案内いたします。
- 視聴にかかる通信費等は視聴する方の負担となります。
- 当日のアクセスは参加者の責任において行ってください。視聴環境により、ご覧いただけない場合や映像・音声がかかる場合があります。
- 参加にかかるURL・パスワードは申込参加者限りです。第三者への転送・譲渡はできません。
- 本セミナーの録画・録音、第三者への提供は固く禁じます。
- いただいた個人情報は、本事業運営以外の目的には使用いたしません。
- 状況により、中止となる可能性があることをご承知置ください。

問い合わせ先：（公財）九州経済調査協会 調査研究部
（事業受託先） TEL：092-721-4905
担当：原口、平松、池松、大谷

講師プロフィール

第1回講師 プロフィール



岩永 真一 (いわなが しんいち)

人と人、人と企業、人と社会を繋ぎ関係性をつくる
“コミュニケーション・デザイナー”

福岡テンジン大学学長。複数の企業で経営戦略や人材育成を行い、西南学院大学・北九州市立大学で社会活動・キャリアデザインの講師も務め、福岡・天神地区のまちづくりにも参画するなど、複数の仕事を行う複業家。

(主な役職等)

- ・ 福岡テンジン大学(学長)
- ・ グリーンバード北九州(代表)
- ・ WeLove天神協議会コミュニティWG(リーダー)
- ・ 北九州市立大学(特別講師)
- ・ 西南学院大学(非常勤講師)
- ・ 夜明の里カメツ(社外社員)
- ・ スペースRデザイン(コミュニケーション・デザイン室)

第2回講師 プロフィール

YOU I



原口 唯 (YUI HARAGUCHI)

産官学民の連携による事業・政策立案の実践者

2011年に九州大学芸術工学府デザインストラテジー専攻修了後、都市開発コンサルティング会社・自治体シンクタンクを経て、2017年に株式会社YOU Iを設立。多様な主体の働きかけによるプロジェクトのデザインとマネジメントを通じて、人間と都市の魅力が最大化されることを目標に活動。

(主な役職)

- ・ 株式会社YOU I 代表取締役
- ・ 九州SDGs経営推進フォーラムコーディネーター
- ・ 一般社団法人大牟田未来共創センター理事
- ・ 認定NPO法人エデュケーションエキュープ 社会的インパクト評価担当理事

(主な資格)

- ・ 日本ファンドレイジング協会「準認定ファンドレイザー」
- ・ 一般社団法人イマコロボ「2030SDGs」公認ファシリテーター
- ・ SDGs de 地方創生運営事務局「SDGs de 地方創生」公認ファシリテーター

○近年の実績等

- ・ 福岡県「協働推進・マッチング支援事業」をNPO法人ミディエイドとともに共同提案、受託(H29,H30)

地方公共団体の協議会等委員

- ・ 「みやま市役所 山川支所」を拠点とした自動運転サービス実証実験 地域実験協議会委員(H29~)
- ・ 福津市総合計画審議会 委員 (H30)
- ・ 国土交通省「博多と福岡を結ぶ国道道路の空間利活用検討会」委員(H31~)
- ・ みやま市まち・ひと・しごと創生会議 副委員長(R1)

ワークショップ企画・設計・ファシリテーションの実施

- ・ 佐賀市・日揮「バイオエコノミービジネスデザインプログラム(全4回)」(H29)
- ・ 経済産業省「未来の教室実証事業大牟田リビンラボ」パーソンセンタードデザイン研修 (H30)
- ・ 経済産業省「教育と探求社『未来の教室』実証事業」参加企業向けSWOT分析 (H30)

九州SDGs経営推進フォーラム 第3回SDGs経営・オンラインセミナー

主催：九州SDGs経営推進フォーラム、九州経済産業局

「九州SDGs経営推進フォーラム」では、会員の皆様がSDGs経営について学び、理解を深めるため、**第3回SDGs経営・オンラインセミナー**を開催いたします。お申し込みお待ちしております。

参加費無料
定員100名

九州SDGs経営推進フォーラムは、地域企業がSDGsを本業へ埋め込み、経営戦略に実装するとともに、地域企業のノウハウやソリューションを活用して、社会的課題や地域課題を横断的に束ねて解決するモデル事業等を支援することを目的として2020年2月に設立した産学官金のプラットフォームです。
<https://www.kyushu.meti.go.jp/seisaku/kyosoryoku/sdgs.html>



プログラム

2021年
1 / 2 2
(金)

15:00～16:30

■対象者：主に経営者向け ＊どなたでもご参加いただけます

■テーマ：

「SDGsにどう取り組むか～企業事例を参考に～」

SDGsを経営に活かしていくためのポイントについて事例を踏まえてご紹介いたします。



講師：眞鍋 和博（まなべ かずひろ）氏

公立大学法人 北九州市立大学 教授
サステナブル北九州 代表

【プロフィール】

(株)リクルートを経て現職。

専門はキャリア教育、ESD/SDGs。地域創生学群の立ち上げに参加し、その後、学部長として運営に携わる。昨年「サステナブル北九州」を設立。企業がSDGsを経営に取り入れるためのコンサルティングを展開し、教育と企業経営の両面から持続可能な社会を展望する。

申込方法

※事前のお申し込みが必要です。1月20日（水）17時〆切。

参加申込フォームより、お申し込みください。

■参加申込 <https://questant.jp/q/kyushuSDGswebinar21>

※フォーラム会員でない方は、お申し込み後に会員登録をお願いいたします

■会員登録 <http://urx.space/wfxy>

参加申込



【注意事項・個人情報利用】

- ・ ネット配信サービスMicrosoft Teamsにてライブ配信いたします。視聴にかかる通信費等は視聴する方の負担となります。
- ・ お申込みの受付を確認するメールは送付いたしませんのでご注意ください。
- ・ 視聴用URLは開催日前日にお申し込み頂いたメールアドレスへご案内いたします。
- ・ 当日のアクセスは参加者の責任において行ってください。視聴環境により、ご覧いただけない場合や映像・音声がかかる場合があります。
- ・ 参加にかかるURL・パスワードは申込参加者限りです。第三者への転送・譲渡はできません。
- ・ 本セミナーの録画・録音、第三者への提供は固く禁じます。
- ・ いただいた個人情報は、本事業運営以外の目的には使用いたしません。
- ・ 状況により、中止となる可能性があることをご承知置ください。

問い合わせ先：（公財）九州経済調査協会 調査研究部
（事業受託先） TEL：092-721-4905

担当：原口、平松、佐藤、大谷
MAIL：re[redacted]@jp

■ 参加者アンケート

セミナーの最後に以下のアンケート協力依頼を提示し、終了後に参加者に対してメールにて再度依頼して、WEBからの回答を受付けた。参加者のSDGsに対する意識や取組の状況のほか、セミナーの満足度等について聴取した。

【メール送信数】 第1回 119件(登録者数)
第2回 169件(登録者数)
第3回 202件(登録者数)

【回答数】 第1回 49件(回答率:41.2%)
第2回 55件(回答率:32.5%)
第3回 84件(回答率:41.6%)

【WEBアンケート・調査票（イメージ）】

九州SDGs経営推進フォーラムSDGs経営
第1回オンラインセミナー 受講者アンケート

本日は、オンラインセミナーに参加いただき、ありがとうございました。
今後の九州におけるSDGs経営の推進に向けた施策の参考とさせていただきますので、
アンケートへのご協力をお願いします。

※いただいた情報は、本事業運営の目的のみに利用させていただきます。

回答する

九州SDGs経営推進フォーラムSDGs経営第1回オンラインセミナー 受講者アンケート

0 / 7

(プレビュー)

Q1. ご所属についてお聞きます（1つだけ選択）
*

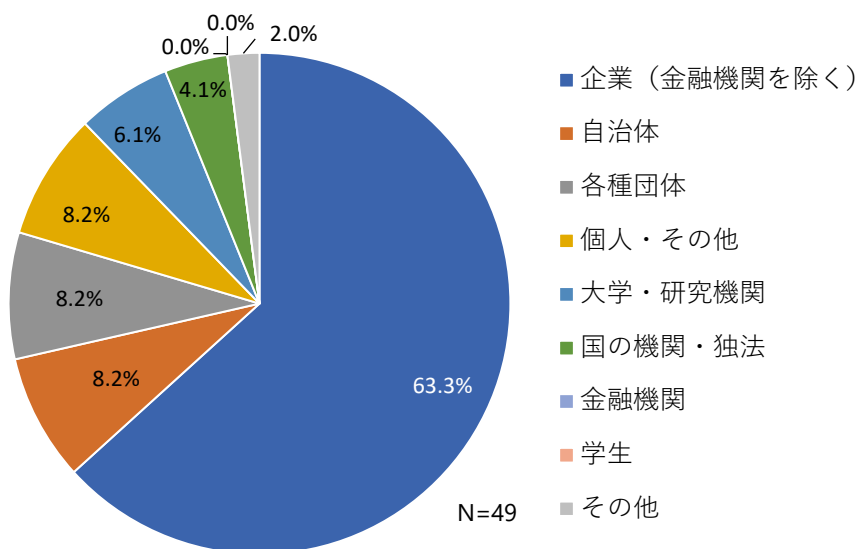
☐ 企業（金融機関を除く）
☐ 金融機関
☐ 自治体
☐ 国の機関・独法
☐ 各種団体
☐ 大学・研究機関
☐ 学生
☐ 個人・その他
☐ その他

Q2. 本日の参加目的はどれに当てはまりますか（該当するものすべて選択）
*（複数選択）

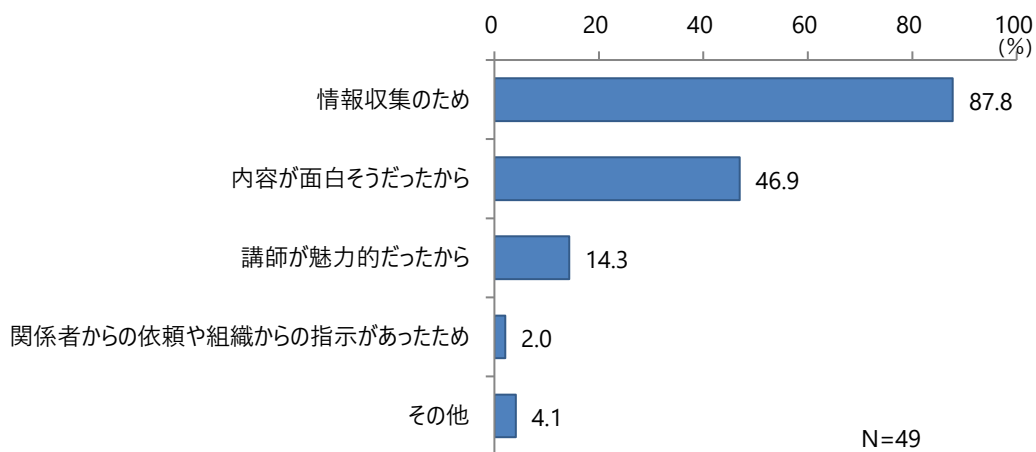
☐ 情報収集のため
☐ 講師が魅力的だったから
☐ 内容が面白そうだったから
☐ 関係者からの依頼や組織からの指示があったため
☐ その他

■ アンケート集計結果（第1回）

問1 ご所属についてお聞きします（1つだけ選択）



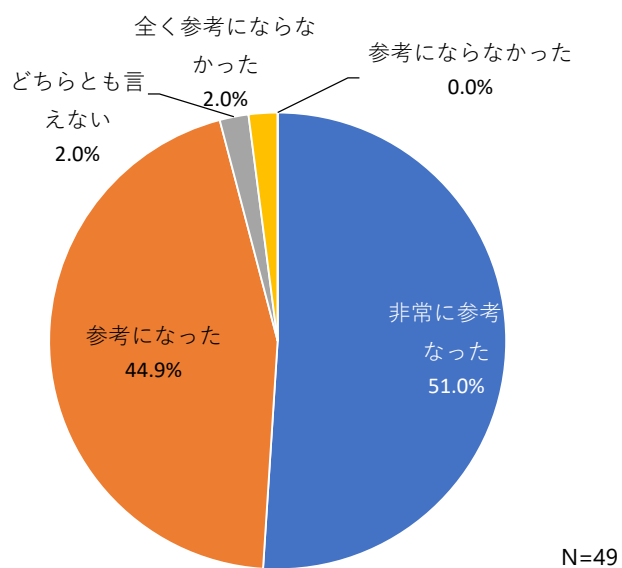
問2 本日の参加目的はどれに当てはまりますか（該当するものすべてに○）



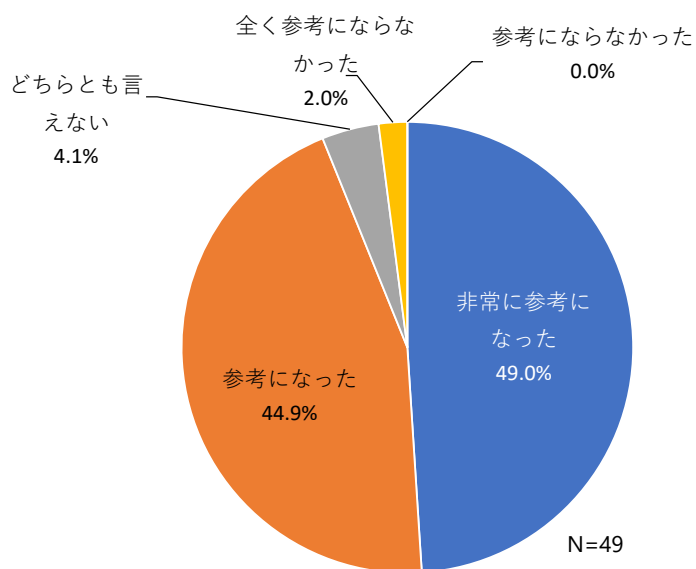
【その他の回答内容】

・顧問の勧め

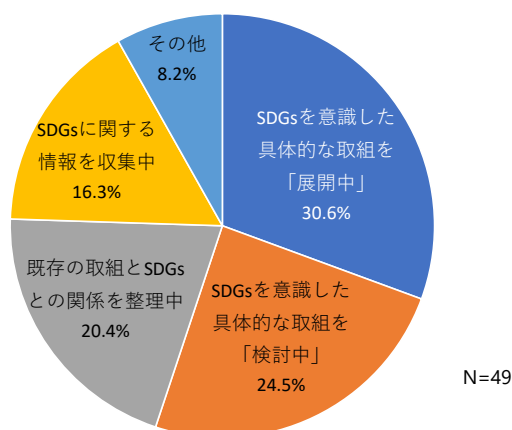
問3 本日のセミナーは全体的にいかがでしたか（1つだけ選択）



問4 講演「SDGs×企業・入門編 ～世界の潮流を経営に活かすには～」はいかがでしたか（1つだけ選択）



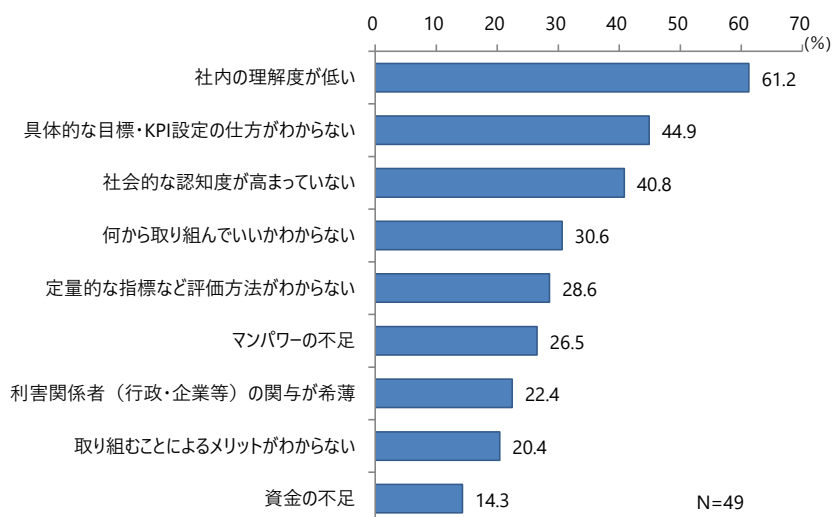
問 5 あなたの組織におけるSDGs経営に対する取組はどの段階ですか（1 つだけ選択）



【その他の回答内容】

- ・0%。これから勉強して上げていきたい。
- ・社会貢献活動と思って活動していたことがSDGsのどの項目に該当するのかを調査中

問 6 SDGsに取り組むに当たっての課題は何ですか。（当てはまるものすべてを選択）



【その他の回答内容】

- ・インセンティブや政策誘導
- ・教員・事務員・学生との意思疎通
- ・経営側の意識改革、社内の共有
- ・社会貢献活動と思って活動していたことがSDGsのどの項目に該当するのかかわからないので悩んでいる

問7 あなたの組織におけるSDGs経営の取組内容や本日のセミナーの感想、九州SDGs経営推進フォーラムへの要望等、自由にご記入ください。

【自社の取組等について】

- 7月まで人事採用担当をしていて、学生が急にSDGsの事を書き始めたので驚きました。今回その謎が解けたことと、優秀さの基準についての話、学生の目線が投資家の目線だという話はとても興味深いものでした。自社において何ができるのかを落とし込んでいきたいと思いました。
- 弊社の取組は近隣の生産者、障がい者支援施設と連携して産地を維持しながら、海外への販路開拓をすすめており今年度の森林白書に「林福連携」の事例として掲載いただきました。
- 当社では、既に7番の「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」、9番の「産業と技術革新の基盤をつくろう」、11番の「住み続けられる街づくりを」、13番の「気候変動に具体的な対策を」に取り組んでいます。しかしながら、SDGsが広がる前から実施していることであり、SDGs経営として取り組んでいるわけではありません。これらは、会社の経営理念であり、中期経営計画に沿った活動であると認識しています。これらを、SDGsという言葉に置き換えることで社員には混乱が生じるのではないかと感じたりもしています。正直言ってSDGsという言葉なんてどうでもよく、未来社会がより良くなる事業活動を企業が営めばそれで良いのではないかと感じました。
- ODA案件化の採択を受け、海外でのビジネス化展開を目指しています
- 事例の紹介は直接自社が関わっているビジネスでなくとも、フレキシブルな視点から考えると自社ができること、取り組めることが見え易いので是非とも様々な事例紹介を引き続きいただきたいです。外国人スタッフとの協働ビジネスの中で軸は日本にあるが日本の便利・親切・丁寧を当たり前と受け止められてしまいそれが無駄なコスト、無駄な資源利用、無駄な労力になっていることに気付いてもらえない。改善したくてもその当たり前が日本の良いサービスと勘違いされている。日本の旅館で当たりの様に歯ブラシが置かれている様に。用意はあっても目に見えるところに置かなければ自前の歯ブラシを使って完結（ハッピー）なのに、置かれていることが当たり前と思っている。
- リサイクル業なので業をやればSDGsになっている、という声がある。本当はそれだけではすまないはずだ、と思うのだが、これを解決したいと思っている。

【講演内容について】

- 話の内容、流れともに非常にわかりやすかったです。
- 初級編とし拝聴しました。今後の活動に活かしていきます。
- 岩永講師のお話とても興味深く聞かせていただきました。私自身SDGsの社内施策

の手伝いをさせていただいているのですが、少し行き詰っていました。今回の講義でSDGs解像度が高まったと同時に、モチベーションが湧いてきました。本日はありがとうございました。

- 講師の岩永さんの講話がとても聴きやすく、聞き入っておりました。未だ知ったばかりなのでこれからしっかり勉強したいです。有難うございました。
- 初心者レベルということでしたが、SDGsの主旨や考え方等、かみ砕いて講義していただき、とても分かり易かった。講師の方の説明もテンポが良く聞きやすかった。
- ありがとうございました。講演は聞きやすかったです。ただ、国際的には地球市民ではなく分断化が進んでいる気がします。2015年から5年。SDGsなど受け入れない風土がアングロサクソン系の国に多い気がします。中国なんてどうなのでしょう？イスラムの女性の社会進出はトルコなどでは後退していませんか？
- 分かりやすく入門編としては良かった。企業に活かす3つのポイントや情報が人に紐づいていないというのは、情報の質の本質だと感じ、良く捉えられていてSDGsをいかしていると思った。
- 今後、SDGsが取引の前提になるかもしれないと思いました。しかしながら、この場合の評価基準の設定の困難性が予想されます。従って、SDGs目標設定と評価基準の設定は、同時進行が必要ではないだろうか。
- 社会に繋げる、人事からといった展開の仕方は参考になった。自社のブランディングとして採用や定着にメリットがあるように感じる。
- とても聞きやすい講義でした。グループのトップの人間の意識が変わらなければなかなか難しいものだと感じました。事業自体は、自然との調和・子供たちの未来を豊かにを念頭においております。社内からでも意識改革を進めていけばいいなと感じながら視聴致しました。
- 本日のセミナーの内容は甚だ残念。まず、ちゃんとSDGsを理解している方が講師を行うべき。この程度のレベルではSDGsウォッシュを助長するとともに、世界の潮流から外れてしまう。その結果、本邦企業の国際競争力が低下していく。

【セミナー展開・運営方法について】

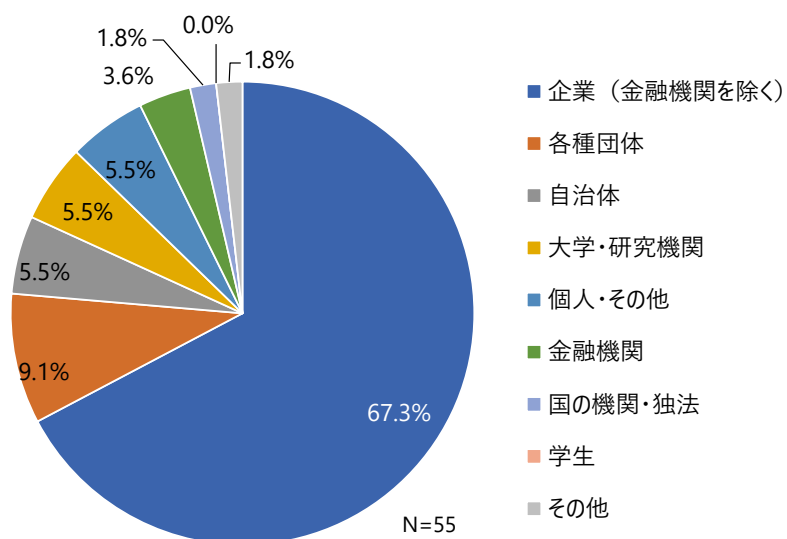
- 今回のようなセミナーがもっと浸透することによって、一般の方も含めてSDGsが他人事ではなくなると思います。
- SDGsはだいぶ知られるようになってきたが、まだまだ国民全体の認知度は低いと思う。もっと啓発すべきだと思う。
- 遠方なのでオンライン会議は助かります。
- 貴重な情報をご提供いただきありがとうございます。次回も期待しております。個人的な問題です。iPadでは質問画面が見れませんでした。
- 質問など slido を使うこともご検討してみたら如何でしょうか？岩永さんが詳しいと

考えます。先日、セミナー参加で中々使い勝手が良かったです。質問に対しての回答や集計がスムーズに出来る様でした。

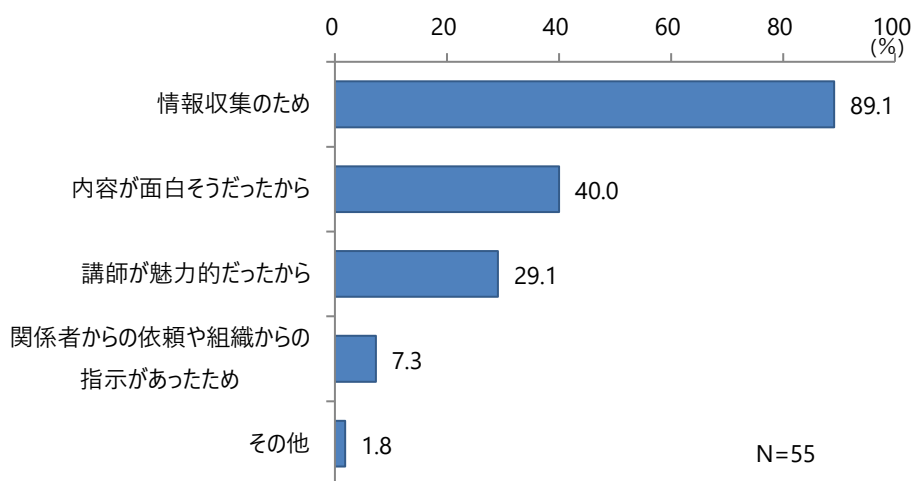
- チャット機能を有効に活用され、インタラクティブ性のある、そして非常にわかりやすい内容と進行でした。 なお、セミナー資料の事後共有はございませんでしょうか。差し支えなければ、資料内容を振り返ってみたいと思います。
- セミナーに参加された方々との交流が出来れば。

■ アンケート集計結果（第2回）

問1 ご所属についてお聞きします（1つだけ選択）



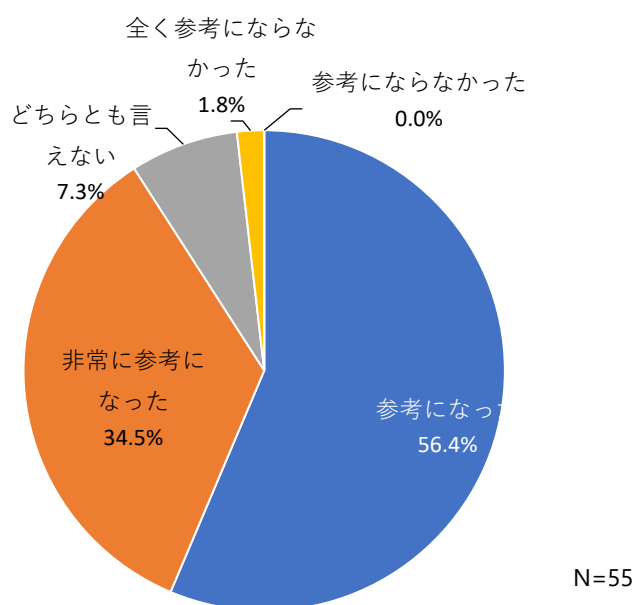
問2 本日の参加目的はどれに当てはまりますか（該当するものすべてに○）



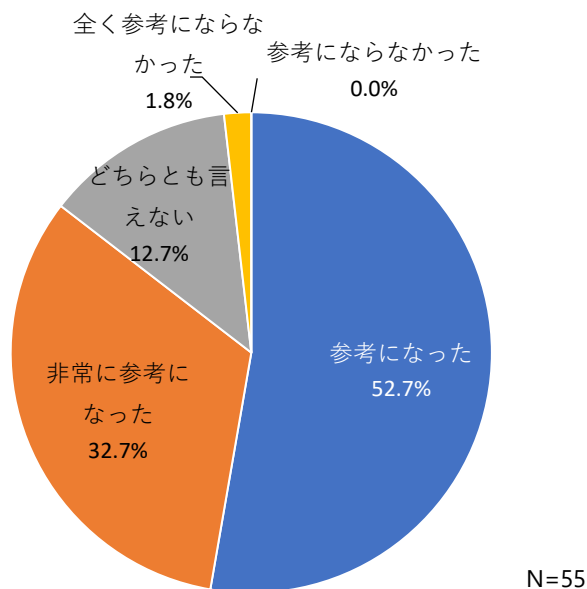
【その他の回答内容】

・会社の顧問からの勧め

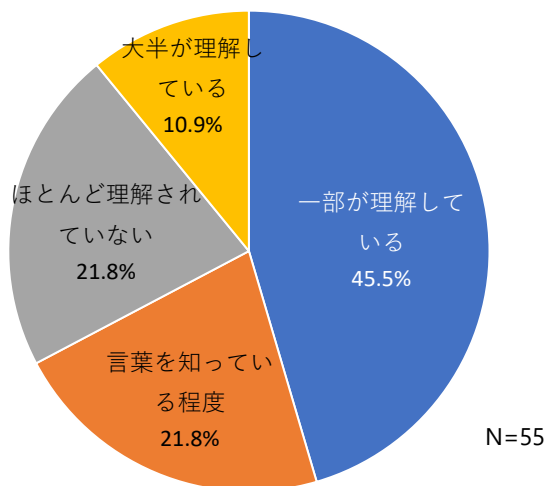
問3 本日のセミナーは全体的にいかがでしたか（1つだけ選択）



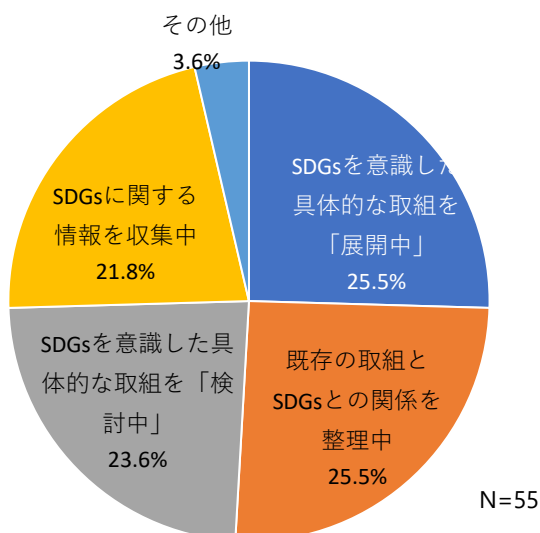
問4 講演「企業経営・事業展開の応援旗としてのSDGs」はいかがでしたか（1つだけ選択）



問 5 あなたの組織におけるSDGsに対する認知度はいかがですか（1 つだけ選択）



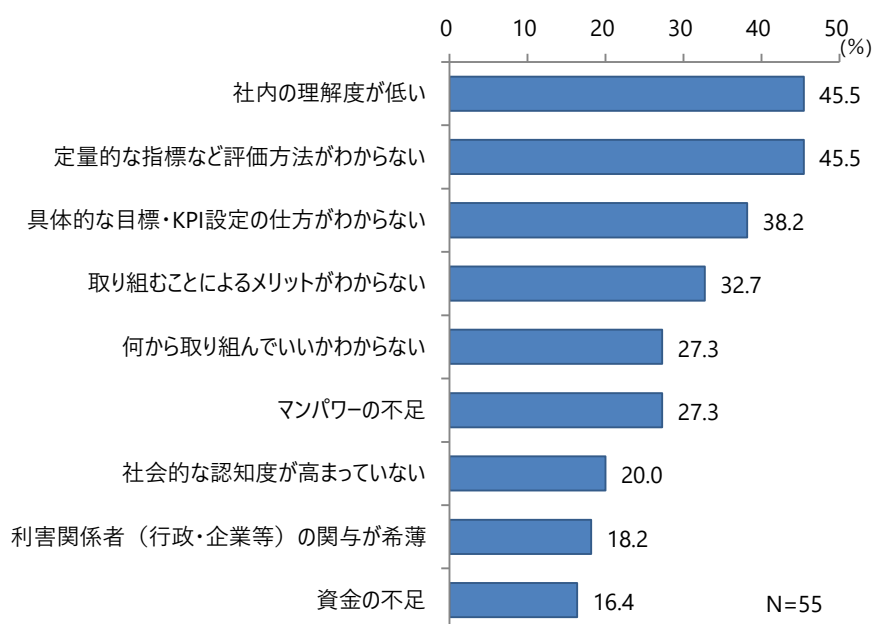
問 6 あなたの組織におけるSDGs経営に対する取組はどの段階ですか（1 つだけ選択）



【その他の回答内容】

- ・何も行っていない状態
- ・全く取り組んでいない

問7 SDGsに取り組むに当たっての課題は何ですか。(当てはまるものすべてを選択)



【その他の回答内容】

- ・やっている人たちの研究心の決定的欠如、経営実務能力の決定的欠如
- ・会社の事業が幅広く優先課題が決められない
- ・経営陣の意識改革
- ・社会的課題の解決を優先に微力ながら考えています。

問8 あなたの組織におけるSDGs経営の取組内容や本日のセミナーの感想、九州SDGs経営推進フォーラムへの要望等、自由にご記入ください。

【自社の取組について】

- ヘルスケア領域の展開を模索中です。
- 弊社で実際取り組むとなった場合、なんとなくイメージはできるのですが、それをどう利益につなげるのかが単純に問題だなと感じました。
- SDGsに取り組む必要性・重要性はわかったがさてこれからどう進めていこうかと考えている段階でしたので、他社の事例紹介などは大変参考になりました。ただ、弊社は小売業なのですが、このような事例は自分で調べた限りではメーカーのものが多く感じしており、小売業での取組は内容が限られる、地味なものになりがちなのではと感じる部分があり、もしまた機会があれば多業種の取組紹介などがあるとありがたいと感じました。
- 既存のエコアクションとSDGsなどを統合し取り組みたいと考えている。今回のセミナーに参加して取組の目的・メリットに係る社内浸透の大切さが認識でき有意義で

した。

- 弊社は、12 項目目の「つくる責任 つかう責任」を基本に考えていて、付随した項目も取り入れていく予定です。今後も、宜しくお願い致します。

【講演内容について】

- 今回のセミナーでSDGsを経営にどのように取り組めばよいのか少しだけ理解できたような気がした。しかし、更に具体的な事例やフレームワークのようなものがあればよいのではないかなと思う。
- 意味的価値は顧客の中に存在し、顧客とともに価値を創造する、協働という部分が印象に残りました。他社の取組を参考に、自社に取り入れていきたいと思います。
- オープンイノベーションと共創のルール
- 事例も多く、大変分かりやすい内容でした。社内展開の参考にもさせていただきたいと思います。有難うございました。
- 今日はありがとうございました。電気の契約を自然エネルギー100%の会社に変更することもSDGsになるというのは本当だろうか？
- なかなかSDGsについて詳しい方のお話を伺い機会が本当に少ないので、今日は大変参考になりました。ありがとうございました。
- ありがとうございました。わかりやすかったです。SDGsは範囲が広く目標の絞り方の講演があれば助かります。
- SDGsが協働にあたっての1つのツール（共通目的）になるという点が、特に印象に残りました。
- 難しいとは思いますが、企業がSDGsに取り組む意義ではなく、取組方法やプロジェクトの進め方が知りたいです。
- 参考になりました。ありがとうございました。次回は講演のテーマを絞り、具体的な話や具体例を聞けると助かります。
- ありがとうございました、今後も学ばせていただき、関係を構築していきたいと思います。
- 具体的なメリットがもう少し明確であれば、周囲が動くと思います。今はぼんやりと、みんなが良いことしようね、というニュアンスのままであるため、動きにくいです。
- 今日は、すべてのプログラムをお聞きする事が出来なかったのですが、とても勉強になりました。いろいろと情報発信お願い致します。大分も頑張ります。
- レジューメに過去在職企業の資料を使っていたのはありがたいが、過去のどこかのレジューメの寄せ集めでは、割と誰でもできることなので、訴求力があまりにない。ある日突然みたいな話にしても、組織で突然事例をもらってもたいてい一言や二言あることが多いので、非現実的ダメ組織を前提にしても、講師が実態経営になかなかありえないそういう意識だったのかと視聴者を馬鹿にするにもほどがある。

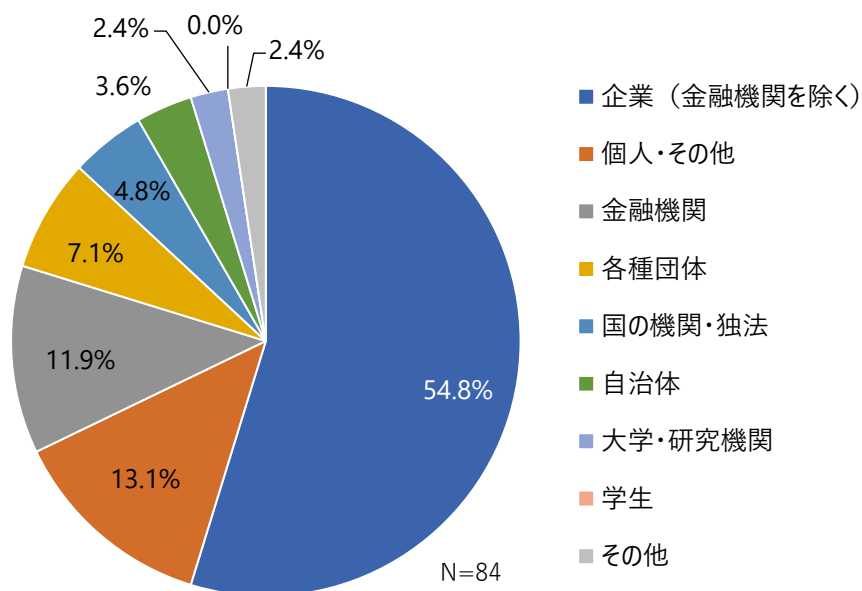
- 事前への質問へ真摯に回答してくださりありがとうございました。内外でのE S G投資の失敗例も知りたいです。失敗から学ぶこともあると思います。

【セミナー展開・運営方法等について】

- S D G s 経営オンラインセミナーの第 1 回及び第 2 回をアーカイブとして拝聴できるようお願いします。期間限定でも結構です。とても分かりやすいお話でしたので、社内の理解度を高めるために活用したいと思います。ぜひご検討ください。
- 質問チャットについて、匿名などをニックネームなど付ける様、開始前に説明があり少し登録練習の時間があれば参加者の理解や誰の質問かや、いいね表示がチョイリアルで分かりやすかったかと思われます。
- フォーラムの活動が分かりにくい。当初ビジネスダイアログ案内が内容不明でスルーしてしまった。活動について、より分かりやすい説明をお願いしたい。
- どのような分科会が取り組まれるのか楽しみにしております。もし弊社も関係できる内容があれば是非参加させて頂ければと考えています
- 貴重なお話をお聞かせ頂きありがとうございます。 情報公開可能な資料がございましたら、事前配信いただければ幸いです。 対面、紙資料配布でないので、講演内容の先読み等ができず質問の切れ味が悪くなると思います。 事務局の皆様の準備、運営に感謝いたします。

■ アンケート集計結果（第3回）

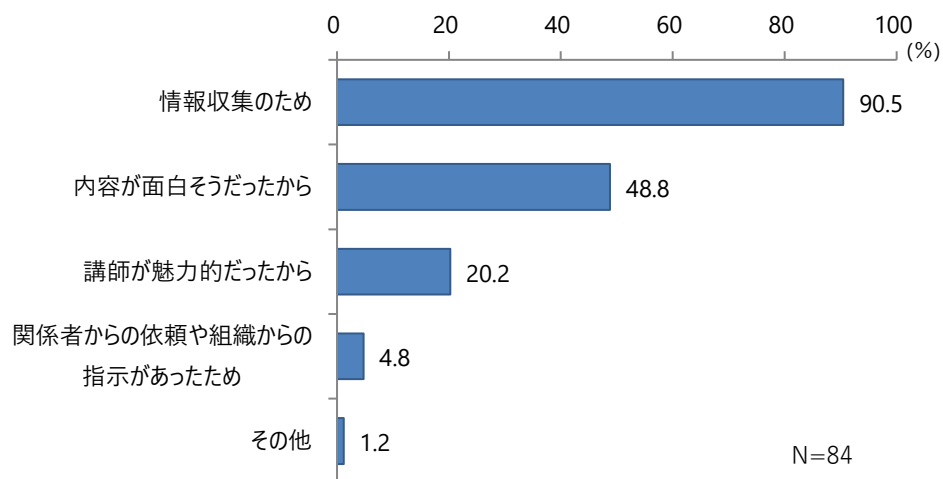
問1 ご所属についてお聞きします（1つだけ選択）



【その他の回答内容】

・省エネコンサルタント

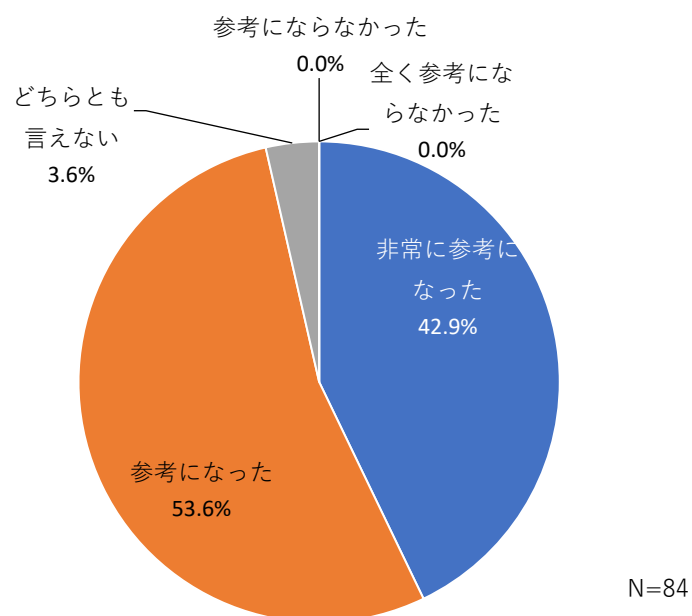
問2 本日の参加目的はどれに当てはまりますか（該当するものすべてに○）



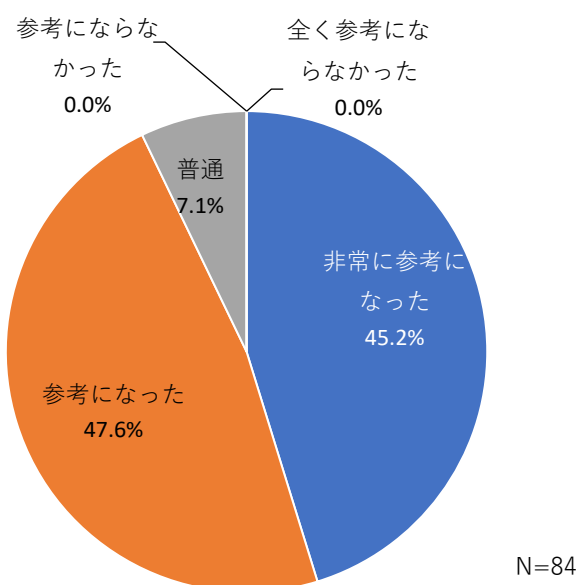
【その他の回答内容】

・SDGsについて学ぶ機会として

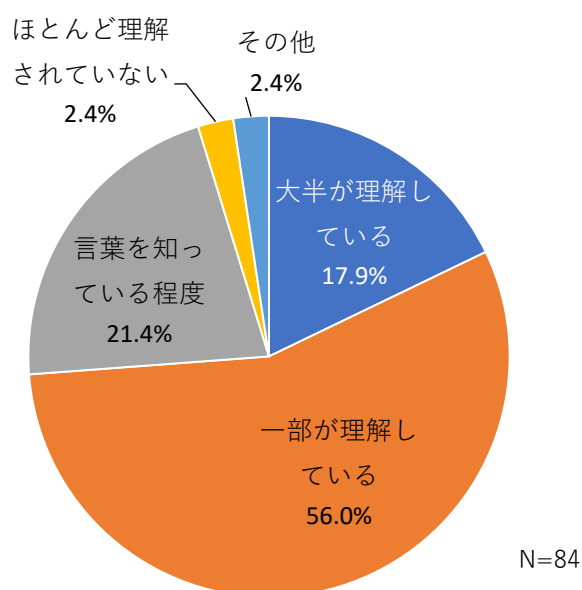
問3 本日のセミナーは全体的にいかがでしたか（1つだけ選択）



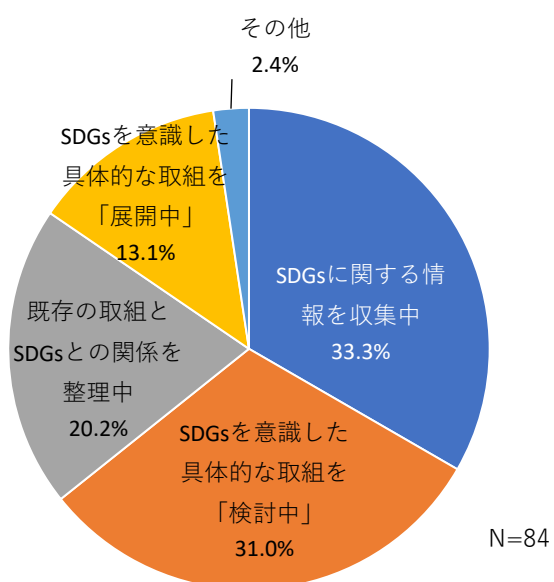
問4 講演「SDGsにどう取り組むか～企業事例を参考に～」はいかがでしたか（1つだけ選択）



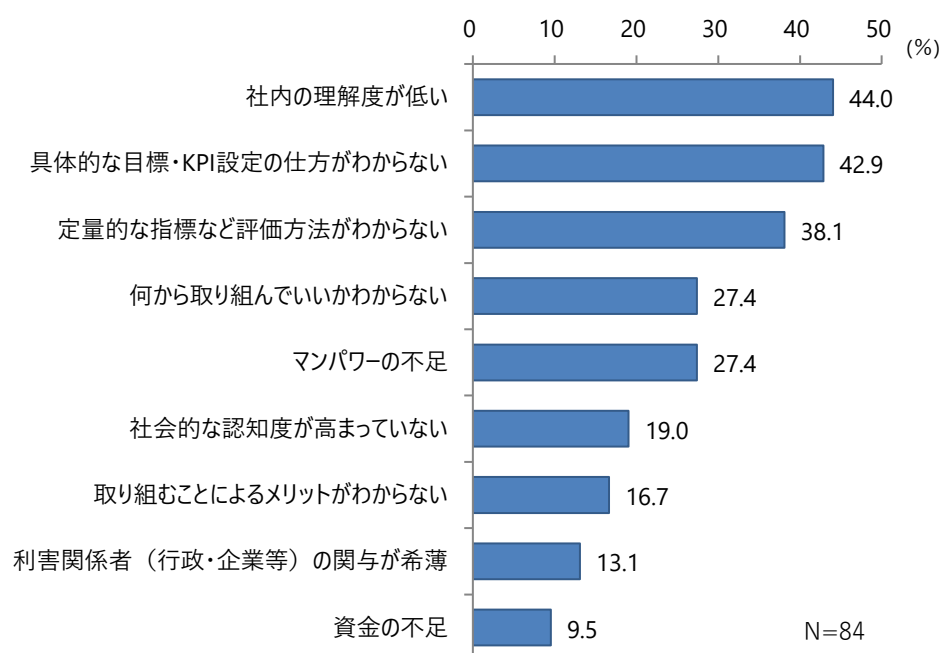
問 5 あなたの組織におけるSDGs経営に対する取組はどの段階ですか（1 つだけ選択）



問 6 あなたの組織におけるSDGs経営に対する取組はどの段階ですか（1 つだけ選択）



問7 SDGsに取り組むに当たっての課題は何ですか。(当てはまるものすべてを選択)



【その他の回答内容】

- ・ ビジネスに結び付けたいが、糸口が見つからない
- ・ 業務内容との結び付けが難しい
- ・ 経済との相関性（直結しづらい）
- ・ 利益やコストとのバランス

問8 あなたの組織におけるSDGs経営の取組内容や本日のセミナーの感想、九州SDGs経営推進フォーラムへの要望等、自由にご記入ください。

【自社の取組等について】

- ・ 社内で推進チームが発足しましたので、本日の講義を参考に進めていきます。
- ・ 熊本支社として取り組むにあたって大変参考になりました。
- ・ 事例紹介だけでなく、社内推進の方法についても順序だてて説明していただいたことで、自社が今どの段階なのかを改めて整理することができ、とても参考になった。
- ・ 弊社では、まず社員への啓発活動から始めようとしている段階で、基本的な内容の説明会を予定しております。そのため、勉強になると思い参加させていただきました。大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・ セミナーご視聴させていただきありがとうございました。引続きセミナー等を通して情報収集しながら社内啓蒙も含めて取り組めるところから取り組んで参りたく存じますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。
- ・ 環境省認定EMS「エコアクション 21」の審査員です。今後の事業者のEMS運用はSDGsとESGを意識したものになると思います。そのため本セミナーは私にとって大変有意義でした。
- ・ 自社のSDGsに関する取組を推進するにあたり大変参考になりました。今後のセミナーにも期待いたします。ありがとうございます。
- ・ 当社のSDGsに対する取組はまだ始まったばかりであり、今回のセミナーはベースの知見を得るのに有意義であったと思います。
- ・ SDGsの社内浸透はもちろん、持続可能な社会の実現に向け当社が取り組めることは何か検討していきたい。
- ・ 省エネがSDGsの環境、エネルギーに関連するので、SDGsを意識して省エネに取り組むよう指導していきたい。
- ・ 先ずは紐付けからの取組をやってみる。

【講演内容について】

- ・ 4つの思考様式の部分が検討になった
- ・ 個人のSDGsに対する意識のボトムアップをはかっていく重要性を改めて認識しました。
- ・ 企業の事例紹介に時間をもっと設けてほしい。
- ・ 事例の発表（取組事例を多く紹介して欲しい。）表彰など
- ・ 世界の情勢から企業が取り組む意義、具体的な事例まで多岐にわたるご説明で大変勉強になりました。特に「アウトサイド・イン」の思考について、顧客ニーズ起点から社会ニーズ起点へ・・・というお話は衝撃でした。顧客ニーズが間違っている可能性・・・

確かにそうかもしれないと新たな気づきとなりました。ありがとうございました。

- ・ とても興味深く聞かせていただきました。面白かったです。モチベーションが上がった気がします。
- ・ 具体的取組について、先行企業からの話が聞けるとさらに理解が深まると思います。
- ・ 社会が変革している！という事実を、あらためて突き付けられました。デザイン思考でイノベーションを起こしたいです！
- ・ 社会課題を解決すると同時に経営課題を解決できた事例を教えてください。
- ・ 講師の方のお話がわかりやすく、大変勉強になりました。
- ・ とても参考になりました。ありがとうございます。
- ・ S D G s の内容が社会的な事項であるため、企業内で強制的に行うのは抵抗がある。よって、S D G s の理念から浸透させていく必要があると思うが、会社が大きい場合時間がかかる。よってどちらを先行して行うかで意見が分かれています。そのような具体的な方法論についても、相談できると助かります。
- ・ 取組方の具体例といいますか、導入手順があると取り組みやすいと思います。
- ・ 大変わかりやすかったです。もっとS D G s に本気で取り組む企業が増えれば良いと思います。
- ・ アカデミックな方がビジネスシーンで活躍したり、またその逆が起きたりするときのテーマがS D G s であると、よりいろんな良いことが起きそうなのを、眞鍋先生のお話を聴いて感じました。S D G s をアカデミックにやっている・知っている方がビジネスシーンに登場するだけでなく、産業界ももっとS D G s を学び合うためにアカデミックな領域に人材がいけないといけなそうですね。
- ・ 現状の世界、地球の状況がわかり、危機意識が芽生えました。もっとオープンなところで定期的に発信して欲しいと思いました。ありがとうございました。
- ・ 取組企業事例の発信と推進企業における課題の共有。
- ・ 講演の中で、具体的な企業の取組事例等、S D G s への取組の機運を高めるためのヒントを得ることができ、大変参考になりました。
- ・ 多くの取組事例について発表をお願いします。

【セミナー展開・運営方法について】

- ・ オンラインによる開催で、安心して学べる。
- ・ 当方九州に拠点がないため、オンライン開催は非常にありがたいです。
- ・ 今後のテーマとして、事例紹介のセミナーを希望します
- ・ 有難うございました。これからS D G s セミナーの企画をお願いします。中小企業ならではの取組事例なども参考になります。
- ・ 当日のレジュメをいただければ幸いです。
- ・ 毎回内容が充実している。

6. 分科会勉強会（講師謝金補助事業）

（1）分科会について

九州SDGs経営推進フォーラムでは、会員によるSDGsの普及や実践につながる多様な取組（自主事業）に、フォーラムとして連携・推進を図るため、フォーラム会員（法人・団体、個人）より構成される分科会を募集し、運営委員会の承認を経て設置している。分科会が自主事業を進めるため、参加者、協力者、連携先等を募集する場合、事務局が会員に向けて案内する等のサポートを行っている。分科会の主な活動内容は、SDGsの普及・啓発、SDGs経営の推進、地域や社会課題の解決に関する検討、知見の共有及び取組等である。設置期間は原則として設置日から当該年度末までとしている。令和2年度の募集では、12の分科会が活動を行っている。

（2）講師謝金補助事業について（令和2年度）

令和2年度では、分科会で実施する勉強会について講師謝金の一部を助成するため、補助金の申請希望を募ったところ、4つの分科会から申し出があった。しかし、令和3年1月に入って新型コロナウイルス感染症にかかる緊急事態宣言が発動され、予定していた勉強会の実施を止める分科会もあった。

申請者のうち「アートで考えるSDGsプロジェクト」において、補助事業を利用し『「アートで考えるSDGs」プロジェクト公開ラジオ分科会』（開催日：令和3年3月9日、14時～16時）を実施した。

分科会一覧

	分科会名	代表者	活動概要（一部抜粋）
1	ヴィーガン&ピオ マルシェ	Vegropper 村畑 啓子	月に1回、福岡市中央区の都心部でヴィーガン&ピオマルシェを開催。 コンポストを堆肥に変えて作ったオーガニック野菜を収穫してメニューを作成、TOFU MEATと合わせてヴィーガンランチの提供。生ゴミはコンポストへと循環。これからのサステナブルな飲食店経営にとってのモデルとなる活動を予定。
2	アートで考えるSDGsプロジェクト	株式会社シーノ・オフィス 白神 しのぶ	年までに世界が達成すべき17の持続可能な開発目標ゴールをアートの視点で、作品を通して作品を紹介していく企画。
3	SDGsバンブープロジェクト推進フォーラム	一般社団法人九州循環共生協議会 山村 公人	厄介者の荒廃竹林を経済的に活用する事による、生物多様性保全、地滑り未然防止、障がい者の就労機会創出を含む地方経済の活性化（新たな産業の育成）に取り組む。
4	アップサイクルライフを楽しむ会	小出 直子	服・ファッション・アクセサリなどに特化した、アップサイクルという新たな価値を提案。 2020年11月宇美町町制100周年記念事業・アップサイクルファッションショーに参加。また、ワークショップも開催する。
5	中小企業のためのSDGs経営	一般社団法人福岡県中小企業診断士協会／SDGs推進ネットワーク福岡 越川 智幸	経営支援の専門家である中小企業診断士の経験と知見を生かし、中小企業のSDGs経営の実践的支援を行う。
6	VIDA（ビダ） ※Value（価値）Innovation（革新）Development（進展）Action（活動）	ラウンドスペース株式会社 城島 博	将来世代を担う人材育成のため、ウェブ会議形式で勉強会を開催する。
7	ガバトレで世界平和を実現する！	卒業させる整体院 樋口 智貴	月2回大橋駅を中心にガバトレを実施。参加者一人一人に対して、ガバトレの方法をサポートし指導する。
8	糸島 野辺・福の浦地区 SDGs 地方創世計画	九州大学 芸術工学研究院 井上 滋樹	地域持続可能な開発に関する調査、研究を行う。地域住民、研究者、観光客など多様な人々の課題やニーズを把握しながら、経済、社会、環境に配慮した持続可能な地域計画のあり方を探る。
9	マスコミOBネット	マスコミOBネット 柿元 薫	大学での講義や市民講座などで、SDGsの趣旨や実現の仕方などを紹介する。
10	経営労務診断を活用したSDGs経営	福岡県社会保険労務士会 後藤 昭文	「経営労務診断」を活用し、労務コンプライアンスや働き方改革、職場環境改善に取り組む「SDGs経営」を普及、推進する。
11	TEAM EXPO2025 in 九州	株式会社YOUI 代表取締役 原口 唯	分科会メンバーの募集およびメンバー募集のためのイベントの実施（EXPO事務局などによる事業紹介など）
12	働く女性の不定愁訴や不妊などのホルモン不調に対する専門サポート	一般社団法人ウェルネスサポートLab 笠 淑美	女性が相談しやすい「いつでも」「何度でも」「わたしだけの」に対応した24 時間チャット方式の相談窓口で、「不調・不安のあれこれ」をナースの専門性であるコミュニケーション能力でキャッチし、解決法を提案する。

7. パートナー企業の募集ならびにダイレクトリーの作成

(1) パートナー企業募集

地域企業のSDGs経営を推進していくため、SDGsの普及・啓発やSDGs経営のサポートを行う企業、SDGsのゴール達成や地域・社会課題の解決に向けたソリューションやスキルを有する企業を、フォーラムの「パートナー企業」として募集した。

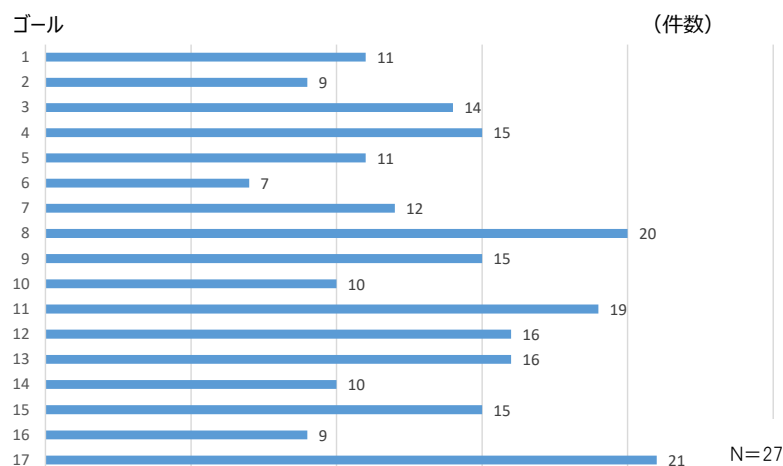
①募集の概要

- ・ 募集数：30社程度
- ・ 募集対象：フォーラム会員で以下①②のいずれかに該当する者
 - ①SDGsの普及・啓発やSDGs経営のサポートを行う企業
 - ②SDGsのゴール達成や地域・社会課題の解決に向けた、ソリューションやスキルを有する企業
- ・ 応募期間：令和2年10月9日（金）～30日（金）
- ・ 応募方法：別紙「パートナー企業応募用紙」に必要事項を記載の上、事務局へ提出

②パートナー企業の属性

期間中の応募社数は27社であった。パートナー企業が貢献できると回答したSDGsの17のゴール内訳は、「17. パートナリシップで目標を達成しよう」が21件と最も多く、次いで「8. 働きがいも経済成長も」が20件、「11. 住み続けられるまちづくりを」が19件となった。

貢献できるSDGs（複数回答・件数）



提供できるサービスの種類について、「普及・啓発」（SDGs（経営）の普及・啓発）、「導入」（SDGs経営の導入に際しての支援）、「事業開発」（SDGsに関する新事業開発・展開支援）、「シーズ型支援」（課題解決に資する特定ソリューションの提供）の観点で該

当するかをそれぞれ判断した結果、「普及啓発」が20件と最も多く、次いで「導入」が17件となっている。

パートナー企業として該当する分野

	普及・啓発	導入	事業 開発	シーズ型 支援
特に該当する	16	12	3	11
該当する	4	5	8	3
合計	20	17	11	14

(2) パートナー企業ダイレクトリーの作成

募集のあった27社に対して、応募用紙に記載された情報等をもとに、ダイレクトリーを作成した。一覧表形式で情報を先行的に九州経済産業局ウェブサイトにて公開し、今後、当フォーラム会員間での交流促進へ繋げる。URLは以下の通りである。

> https://www.kyushu.meti.go.jp/seisaku/kyosoryoku/sdgs/pdf/partner_210120.pdf

先行公開情報ひな形（イメージ）

No	団体名	所在地	普及・啓発	導入	事業開発	シーズ型支援	サービス概要	URL	担当者	連絡先	メール
1	●●●	福岡市	○	○	○	○	●SDGsを普及・啓発するためのSDGs研修 ●SDGs経営の導入を希望する企業・団体のサポート ●SDGs視点による新事業の計画策定・経営課題解決の支援	https://●●●	●●●	●●●	●●●
2	●●●	●●市	○			○	●SDGsを普及・啓発するためのSDGs研修 ●SDGs経営の導入を希望する企業・団体のサポート ●SDGs視点による新事業の計画策定・経営課題解決の支援	https://●●●	●●●	●●●	●●●
3	●●●	●●市		○		○	●SDGsを普及・啓発するためのSDGs研修 ●SDGs経営の導入を希望する企業・団体のサポート ●SDGs視点による新事業の計画策定・経営課題解決の支援	https://●●●	●●●	●●●	●●●
4	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
5	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...

ダイレクトリーの構成・デザイン（イメージ）

8. SDG s 経営推進ハンドブックの作成

地域企業のSDG s 経営推進のため、取組のポイント等をまとめた冊子「SDG s 経営推進ハンドブック」を制作した。冊子の内容は、SDG s の概要、企業がSDG s に取り組む意義、フォーラム概要、課題解決取組事例紹介、支援策等である。1,000 部を発刊している。

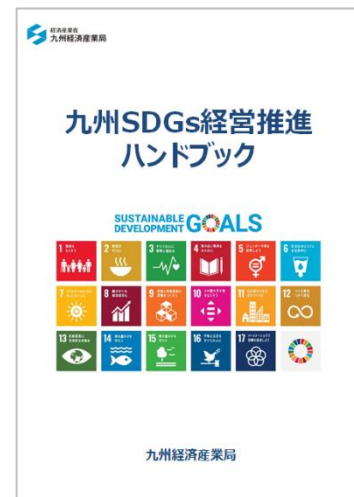
【概要】

- ・構成：30 ページ
- ・サイズ：A 4
- ・発行部数：1,000 部
- ・概要：SDG s の概要、企業がSDG s に取り組む意義、フォーラム概要、各目標のターゲットと指標の詳細、九州の SDGs の動向等

【目次】

1. 持続可能な開発目標（SDG s）について
 - ・ SDG s とは
 - ・ SDG s 誕生までの背景
 - ・ MDG s からSDG s へ
 - ・ SDG s 誕生後の日本政府、経済団体の動き
 - ・ 企業がSDG s を重視すべき理由
 - ・ SDG s を経営戦略に取り込むためには
 - ・ SDG s のもうひとつの捉え方-5つのP
2. SDG s 17 の目標とは
 - ・ SDG s 169 のターゲットと 232 の指標詳細
 - ・ トピックス
 - SDG s 債
 - SDG s 私募債
 - SDG s の新たな価値を測る「新国富指標」
 - 日本のSDG s 達成度ランキング（2020 年版）
3. 九州のSDG s の動向
 - ・ SDG s 未来都市 九州選定一覧
 - ・ ジャパンSDG s アワード 九州選定一覧
 - ・ 九州のSDG s 関連ニュース
4. 九州SDG s 経営推進フォーラムの紹介
 - ・ 「九州SDG s 経営推進フォーラム」の概要

【表紙】



Ⅲ. 課題と今後の取組の方向性

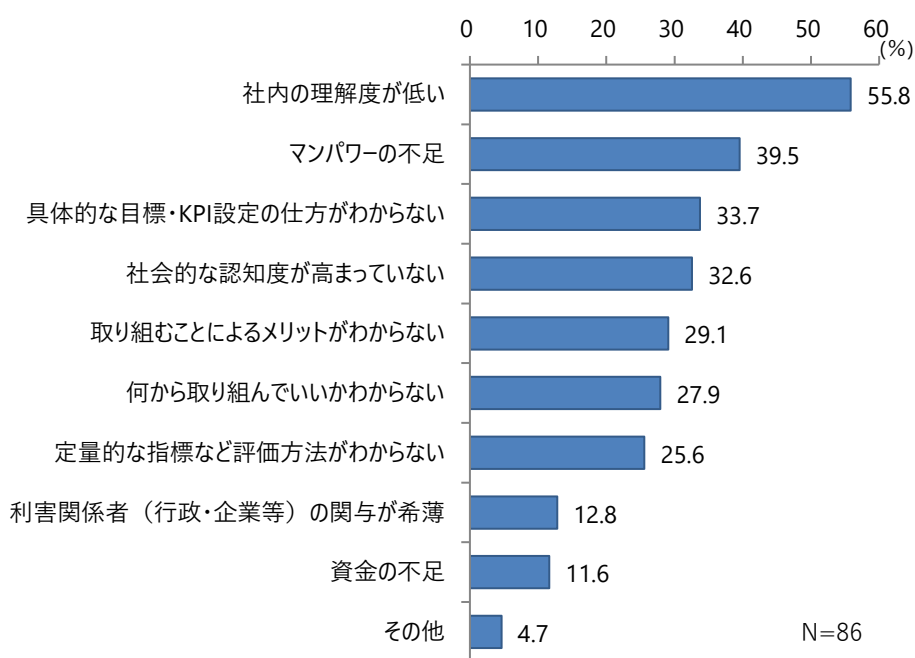
1. 地域企業におけるSDGs経営推進の課題

2020年度においては、九州SDGsダイアログ、フォーラム総会・シンポジウム、対象別のオンラインセミナー、分科会勉強会、運営委員会など、SDGs経営の推進に向けた様々な事業を実施した。それらの実施結果を踏まえ、九州の地域企業におけるSDGs経営推進の課題について検討する。

2020年11月に開催した「九州SDGs経営推進フォーラム2020 総会・シンポジウム」の参加者向けアンケートにおいて、SDGsに取り組むに当たっての課題を尋ねたところ、「社内の理解度が低い」を選んだ企業が55.8%と最多であった。

(※再掲)

問9 SDGsに取り組むに当たっての課題は何ですか。(当てはまるものすべてを選択)



SDGsは分野横断的な取組を要する 경우가多く、一部のSDGs担当者のみならず全社的に取り組む雰囲気醸成することが肝要となる。したがって、まずは経営者・SDGs担当者のSDGsに対する理解向上のための支援を行い、加えて、SDGsを社内に浸透する手助けとなるツールの共有やセミナー開催等が求められている。

2. 地域課題・社会課題を解決するビジネス創出に向けた課題

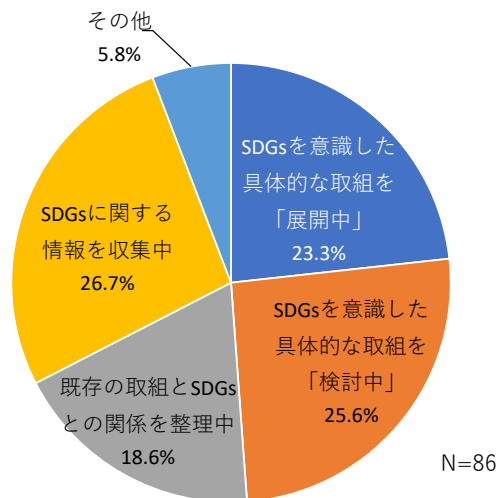
フォーラム総会・シンポジウム参加者アンケート結果によると、フォーラム総会・シンポジウムの参加者におけるSDGsの取組状況について、「SDGsを意識した具体的取組を展開中」との回答は全体の23.3%であった。その他には、「SDGsを意識した具体的な取組を検討中」が25.6%、「既存の取組とSDGsとの関係を整理中」が18.6%、「SDGsに関する情報を収集中」が26.7%であった。

現時点では、SDGsの取組について検討中・情報収集中という会員も多いが、裏を返せば、九州において今後地域課題・社会課題を解決するビジネスの取組主体となりうる存在のポテンシャルは大きいことが伺える。

また、既存の取組とSDGsとの関係を整理中という企業等も一定数ある。第3回運営委員会に参加した委員からは、既存の事業活動において潜在的にSDGsに貢献している企業が多数存在しており、そういった企業がSDGsという観点から自社の取組を再定義・顕在化して企業PRに繋げるような取組も効果的ではないかという意見があった。

(※再掲：フォーラム総会・シンポジウム参加者アンケート)

問8 あなたの組織におけるSDGs経営に対する取組はどの段階ですか（1つだけ選択）



また、取組の可能性を広げるためには、単体での取組だけでなく、多様な主体間の協働・共創が重要である。今年度実施した九州SDGsダイアログでは、地域課題・社会課題の解決につながるビジネス創出を目的として、主に自治体（ニーズ側）と企業（シーズ側）のビジネスマッチングを行った。多様な企業・自治体が参画した点では、SDGsへの関心の高まりが明らかとなった。一方で、多様な主体との協働に向け、事業家に向けたマッチングの精度を高めるためには、まずは自治体が抱える課題の明確化・具体化が重要であるということが伺えた。ただし、今回は自治体から問い合わせがあっても、実際のダイアログへの参

加につながらないパターンも見受けられた。理由として、ダイアログの募集から実施まで1ヶ月～2ヶ月間で実施したが、その時間での検討が難しかった可能性がある。

また、マッチング後のフォローアップにおいて、取組を具体化していく上で予算上の制約があるケースがみられたことから、自治体の予算要求時期等を考慮し、ダイアログ開催時期を設定するとより効果的ではないかと思われる。

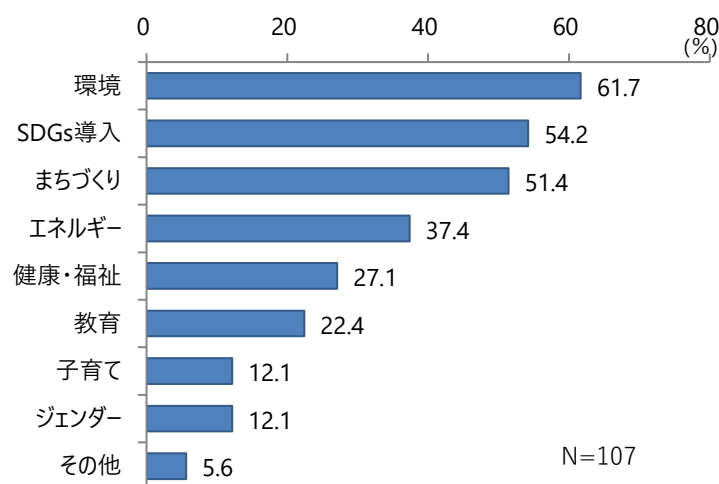
● 参考資料：「第3回九州SDGsダイアログ」開催に向けた事前アンケート結果

【対象者】 九州SDGs経営推進フォーラム会員(2020年12月24日時点会員)

【実施時期】 2020年12月24日～2021年1月6日

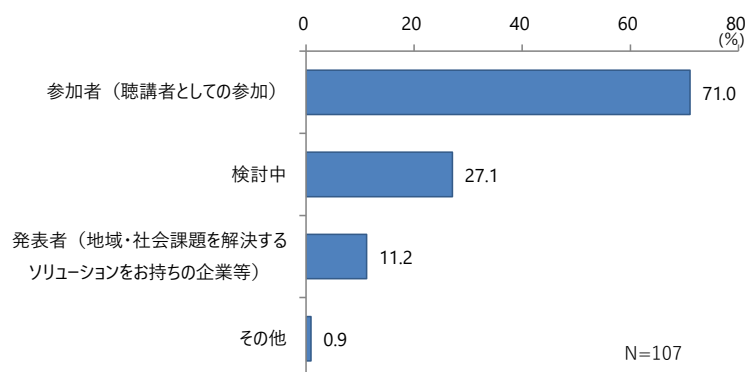
【回答数】 107件

問 外部と連携して取り組みたい関心分野(プレゼンを聞いてみたい)を教えてください。



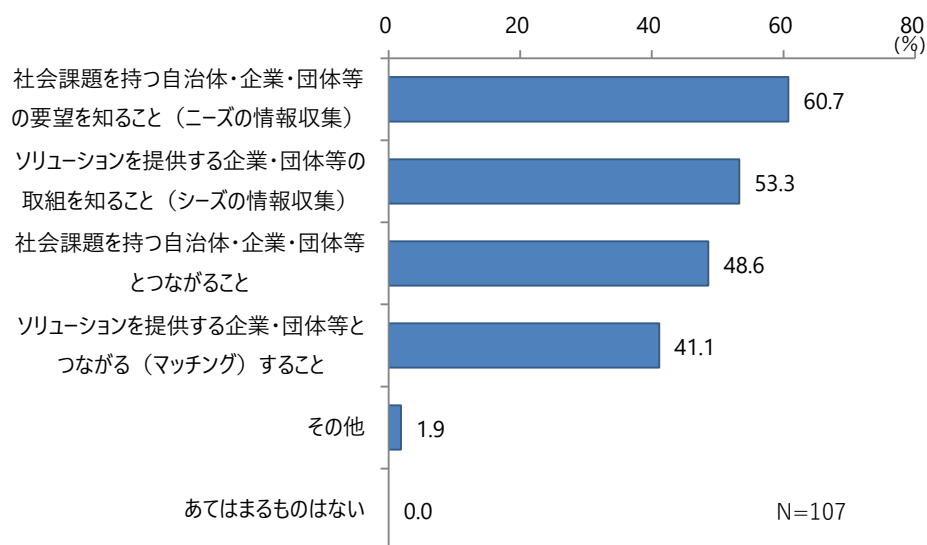
【その他の回答内容】 ・IT、脱炭素、空き家対策、観光・MICE、防災減災

問 今回のダイアログ・ビジネスマッチングにはこういった形での参加を希望しますか。



【その他の回答内容】 ・協議・商談

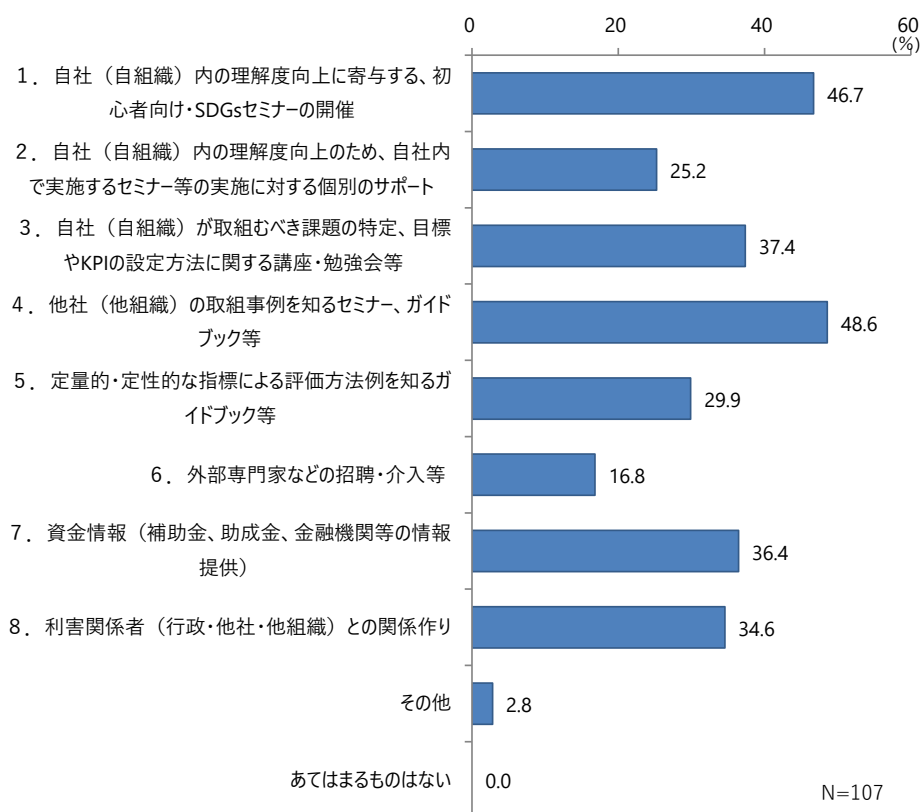
問 あなたがダイアログ・ビジネスマッチングに期待することは何ですか。



【その他の回答内容】

- ・SDGs導入
- ・ビジネスの情報収集と新たなビジネスの可能性

問 貴社・貴団体においてSDGs経営の推進に取り組むにあたり、どのような支援が必要です。(括弧内数字は回答者数)



【その他の回答内容】

- ・産学官民連携アドバイザーのように、SDGs 経営アドバイザー制度の創設。
- ・企業×自治体だけでなく、企業×企業や、非営利団体×企業 のマッチングを希望
- ・個別協議・商談の機会

問 8 【九州SDGs 経営推進フォーラム事業に関すること】

その他、九州SDGs 経営推進フォーラムに対して、実施して欲しい事業などのアイデアがありましたらご自由に記入してください。

- ・ アクションプラン 2021 に盛り込まれた各省庁の施策は、予算規模で 6 兆円を超え、今年の 3 倍以上となりました。下記をさらにかみ砕いて、九州地域でどのように展開するか説明を希望します。
- ・ 人口減少を大きなテーマに、細分化されるシーズの持ち寄りやニーズの把握を行えるマッチング会などを開催頂きたいです(オンラインでも可)
- ・ オンライン EXP0 の半期に一度の開催。実際の展示会の様に、会場マップを設け、定刻にプレゼンし（開催時間内の毎時 00 分～15 分を複数回。オンラインなのでビデオで OK）、相談コーナーを各ブースに設ける。 オンライン操作が分からない、迷子になった人向けに、総合受付のブースを設ける。
- ・ 企業内決定者への本業延長線上の取組意識の啓発セミナー。
- ・ 緩やかな交流会やイベント等の社会的な認知度向上。
- ・ エネルギー関係(発電事業) の動向を詳細にお話出来る方のセミナー等。
- ・ 地方創生SDGs 登録・認証等制度の制度構築・運用方法について。
- ・ 行政と金融機関、企業とのつながる場。
- ・ 九州のSDGs 共通宣言 補助金事業。
- ・ 情報が多岐にわたるため、わかりやすい情報の発信をお願いできれば。
- ・ 参加企業や団体の業務内容やニーズなど。ビジネスチャンスの有る無しの判断材料になりえる企業紹介の場。
- ・ SDGs の推進を海外事業と結び付け、収益を上げる事業。
- ・ 先進的な活動をしている企業・団体様の事例発表または情報交換会。
- ・ こちらは、引きこもりの方や障がいのある方々を対象に、その方々に教育および仕事の創出に取り組んでいるが、そのような分野の情報が少ないのでいろいろな方々と情報交換を行いたい。

3. 地域課題・社会課題を解決するビジネス創出に向けた今後の取組の方向性

産学官金のプラットフォームとして2020年2月に設立した本フォーラムは、地域企業におけるSDGs経営を推進するとともに、SDGsという共通のテーマを切り口に産学官金の垣根を超えた連携を促すための仕掛けを提供する役割を担っている。

そのため、今後とも①普及啓発、②対話の場づくり、③SDGs経営支援に一体的に取り組み、地域・社会課題の解決に向けたプロジェクト創出や地域企業のSDGs経営の実装による持続的な経済成長につなげていくことが重要である。

①普及啓発については、勉強会やセミナー等の実施や開催の支援、企業事例の収集と公開、その他メールマガジンやホームページ等を通じたSDGsに関する情報提供などがあげられる。今年度のオンラインセミナーでは、SDGsの概要とSDGs経営についての理解促進を図るべく総論的なテーマを設定し、参加者から好評を得た。一方で、業種別・分野別の最新動向を題材にしたセミナーの実施や、企業内での取組を進めるイメージをつかめるようなワークショップ等、実践的な学びの機会の提供等を望む意見もあった。このような多様な会員ニーズに応えるために、今後は総論的な内容だけでなく、より個別具体的な内容での勉強会の実施を検討する余地がある。また、取組事例の共有や各会員が開始するイベントの情報等を共有し、実際にアクションを起こす気運を高めていくことも必要である。

②対話の場づくりについては、パートナー企業と会員企業の橋渡し体制の構築や、シーズを持つ企業・団体によるプレゼンの機会づくり、コーディネーターによる協働・共創のためのコミュニケーション支援などがある。連携促進に向けて、2021年3月時点ではパートナー企業27社が登録され、各社の情報は「九州SDGs経営推進フォーラムダイレクトリー」にまとめ、九州経済産業局ホームページにて発信している。引き続き、パートナー企業及びダイレクトリーの拡充と会員同士の情報共有が求められる。また、当フォーラム以外のプラットフォームとの連携による機会の拡充についても検討すべきである。

③SDGs経営支援については、多様な会員ニーズを把握し対応していくことが求められるが、その際には、SDGs経営や各活動に賛同する企業・団体を増やすことで、対応の幅が広がることから、会員を増やす取組も必要である。会員拡大強化について、現在は福岡県内の会員が大勢を占めることから、福岡県以外での会員獲得活動を強化していくこと、また、地域企業とともに地域の課題を解決したいと考える自治体会員の獲得強化についても検討が必要である。これらの会員については、SDGs経営への取組状況や取組に向けた課題、フォーラムへの要望について、アンケート等により把握し、ニーズに応じたメニューを提供していくことが求められる。さらに、政府系金融機関や国際協力機構、経済団体でもそれぞれ地域企業に対してSDGs経営を推進していることから、各活動に賛同している企業に他の機関・団体の活動を周知するなどの横の連携をすることで、さらなる活動の広がりが期待できる。

地域企業の持続可能性向上は、地域金融機関にとっても重要テーマであり、地域金融機関

における地域企業のSDG s 経営支援に向けた関心は近年高まっている。この機会を捉え、フォーラムと地域金融機関との連携により地域企業のSDG s 経営を支援していくことは効果的だと考えられる。

九州SDG s 経営の推進 ロードマップ（イメージ）

	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年	2025 年
普及啓発	・ 情報提供 ・ 勉強会・セミナー等の実施 ・ SDG s 経営に取り組む企業・団体の事例収集	EXP02025 等での 発信			
対話の場づくり	・ パートナー企業と会員企業の橋渡し体制の構築 ・ シーズを持つ企業・団体のプレゼンの機会づくり ・ コーディネーターによる協働・共創のためのコミュニケーション支援				
SDG s 経営支援・ 会員拡大等	・ 福岡県以外の会員獲得活動を強化 ・ 自治体会員獲得の強化 ・ 政府系金融機関や国際協力機構、経済団体との連携	・ 関係機関とのパートナーシップ拡大			

令和 2 年度九州における地域課題・社会課題の解決に向けた
持続的なSDGs 貢献ビジネスマッチング事業 報告書

2021 年 3 月発行

発 行： 経済産業省 九州経済産業局 総務企画部 企画調査課
〒812-8546 福岡市博多区博多駅東 2 丁目 11 番 1 号
Tel：092-482-5414 Fax：092-482-5947

調査委託先：公益財団法人 九州経済調査協会
〒810-0004 福岡市中央区渡辺通 2 丁目 1 番 82 号
Tel：092-721-4900 Fax：092-721-4904
